

平成29年度前期 授業評価アンケート調査結果

■実施科目

| 学部 共通科目 | 科目 | 1年 | 2年 |
|------------|--------|------------------------------|--|
| | | 健康科学(スポーツ社会学を含む)、生命倫理学、日本国憲法 | 英会話 I、身体運動科学 |
| 専門 基礎科目 | 鍼灸学科 | 1年 | 社会福祉学、東洋思想史 |
| | | 2年 | 鍼灸科学概論、運動学、整形外科学、東洋医学系検査法、スポーツ実習Ⅷ生涯スポーツ、衛生学公衆衛生学 |
| 専門 基礎科目 | 理学療法学科 | 1年 | 生物学、情報処理、英語 I (初級) |
| | | 2年 | 臨床検査学 I (初級) |
| 専門 基礎科目 | 看護学科 | 1年 | 健康科学(スポーツ社会学を含む) |
| | | 2年 | スポーツ医学 |
| 専門 基礎科目 | 臨床検査学科 | 1年 | 経絡経穴学 I、スポーツ実習 V ダンス |
| | | 2年 | 鍼灸科学概論、運動学、整形外科学、東洋医学系検査法、スポーツ実習Ⅷ生涯スポーツ、衛生学公衆衛生学 |
| 専門 基礎科目 | 理学療法学科 | 3年 | 運動生理学、学校保健(小児保健・精神保健)、スポーツ医学、画像診断学、現代医学系鍼灸学Ⅱ(内科系)、東洋医学系鍼灸学Ⅱ(内科系) |
| | | 4年 | 関係法規・経営論、応用鍼灸治療学Ⅲ(小児・婦人科)、スポーツ傷害学・栄養学、体力トレーニング論 |
| 専門 基礎科目 | 看護学科 | 1年 | リハビリテーション概論 |
| | | 2年 | 臨床運動学、精神医学 |
| 専門 基礎科目 | 臨床検査学科 | 3年 | スポーツ医学、リハビリテーション医学、医療関係法規論 |
| | | 2年 | 診療援助論Ⅱ、老年看護学概論、母性看護学概論、小児看護学概論、精神看護学概論、在宅看護概論、公衆衛生看護学概論、臨床病態学Ⅱ |
| 専門 基礎科目 | 理学療法学科 | 3年 | 外来看護論、看護関係法規、成人看護援助論Ⅲ |
| | | 1年 | 人体の構造 I、人体の機能 I |
| 専門 基礎科目 | 作業療法学科 | 2年 | 病理学、免疫検査学 I、医用工学概論、血液検査学 I |
| | | 1年 | 人体の構造Ⅱ(神経系) |
| 専門 基礎科目 | 看護学科 | 2年 | 理学療法概論、身体障害作業療法評価学、内科学 I、脳神経外科学、精神医学 |
| | | 1年 | 教育原理 |
| 教職 課程 | 鍼灸学科 | 2年 | 教育行政学 |
| | | 3年 | 教育方法論 |
| 教職 課程 | 看護学科 | 1年 | 教育原理 |

■実施目的

本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

■質問項目

□授業の運営について

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。

□教員について

- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。

□自らの履修態度について

- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。

□自習について

- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法

上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
 「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向

ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。学校全体での傾向を把握するものであることをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。(太字部分が集計対象)。

- ①問1~8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思う**」
 ②問9 「1時間以下」「**2~3時間**」「**4時間以上**」
 ※今回、理学療法学科・看護学科4年は対象授業がありませんでした。

| | 鍼灸学科 | | | | 理学療法学科 | | | | 看護学科 | | | | 臨床検査学科 | | 作業療法学科 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|
| | 4年生 | 3年生 | 2年生 | 1年生 | 4年生 | 3年生 | 2年生 | 1年生 | 4年生 | 3年生 | 2年生 | 1年生 | 2年生 | 1年生 | 2年生 | 1年生 |
| 授業運営についての評価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問1 | 70 → 79 ↑ | 68 → 70 ↑ | 66 → 76 ↑ | 66 → 73 ↑ | | 74 → 77 ↑ | 75 → 69 ↓ | 75 → 68 ↓ | | 73 → 89 ↑ | 73 → 70 ↓ | 79 → 79 - | → 67 - | 83 → 73 ↓ | → 82 - | 59 → 94 ↑ |
| 問2 | 58 → 75 ↑ | 46 → 58 ↑ | 60 → 61 ↑ | 52 → 67 ↑ | | 53 → 45 ↓ | 52 → 54 ↑ | 65 → 60 ↓ | | 58 → 77 ↑ | 64 → 58 ↓ | 81 → 75 ↓ | → 46 - | 67 → 50 ↓ | → 73 - | 49 → 89 ↑ |
| 問3 | 60 → 74 ↑ | 52 → 60 ↑ | 60 → 56 ↑ | 57 → 64 ↓ | | 57 → 43 ↓ | 63 → 62 ↓ | 64 → 65 ↑ | | 60 → 73 ↑ | 63 → 56 ↓ | 76 → 68 ↓ | → 48 - | 67 → 51 ↓ | → 51 - | 49 → 91 ↑ |
| 教員について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問4 | 76 → 81 ↑ | 72 → 66 ↓ | 67 → 73 ↑ | 71 → 75 ↑ | | 75 → 85 ↑ | 72 → 54 ↓ | 77 → 71 ↓ | | 81 → 91 ↑ | 75 → 70 ↓ | 82 → 76 ↓ | → 66 - | 75 → 80 ↑ | → 83 - | 68 → 86 ↑ |
| 問5 | 70 → 85 ↑ | 65 → 63 ↓ | 63 → 72 ↑ | 69 → 70 ↑ | | 63 → 60 ↓ | 70 → 63 ↓ | 74 → 72 ↓ | | 74 → 83 ↑ | 67 → 60 ↓ | 70 → 78 ↑ | → 64 - | 81 → 65 ↓ | → 78 - | 60 → 83 ↑ |
| 自らの履修態度について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問6 | 57 → 75 ↑ | 50 → 60 ↑ | 61 → 61 - | 59 → 54 ↓ | | 57 → 62 ↑ | 56 → 55 ↓ | 43 → 37 ↓ | | 60 → 68 ↑ | 57 → 61 ↑ | 55 → 67 ↑ | → 45 - | 62 → 45 ↓ | → 52 - | 50 → 67 ↑ |
| 問7 | 35 → 67 ↑ | 34 → 66 ↑ | 63 → 64 ↑ | 47 → 57 ↑ | | 43 → 71 ↑ | 49 → 59 ↑ | 33 → 33 - | | 59 → 64 ↑ | 41 → 51 ↑ | 37 → 60 ↑ | → 51 - | 56 → 43 ↓ | → 65 - | 40 → 62 ↑ |
| 問8 | 57 → 79 ↑ | 45 → 59 ↑ | 52 → 56 ↑ | 54 → 60 ↑ | | 50 → 54 ↑ | 60 → 54 ↓ | 52 → 62 ↑ | | 60 → 71 ↑ | 59 → 54 ↓ | 73 → 68 ↓ | → 45 - | 64 → 54 ↓ | → 71 - | 50 → 89 ↑ |
| 自習について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問9 | 10 → 14 ↑ | 7 → 4 ↓ | 6 → 10 ↑ | 4 → 14 ↑ | | 14 → 2 ↓ | 16 → 18 ↑ | 5 → 37 ↑ | | 22 → 10 ↓ | 10 → 13 ↑ | 7 → 12 ↑ | → 17 - | 22 → 22 - | → 11 - | 12 → 15 ↑ |

(平成28年度後期アンケート結果と比較)

□自由意見のまとめ

| 分類 | 分類の具体的内容 | |
|------------|---|---|
| | 興味深かった・役に立った点 | 改善してほしい点 |
| 授業の進め方・話し方 | ●覚えなければいけないところをしっかりと言ってくれるところ ●毎回ある小テストが回答も解説してくれて勉強しやすいと思いました。 ●黒板見る時間と板書する時間を分けてくれるのがとてもよかったです。 | ●重要な点、覚えておいた方がいい点等をもっと強調して欲しいです。 ●シラバスに小テストも反映すると書いてるので前にやった小テストもちゃんと反映してほしいです。 |
| 板書について | ●黒板見る時間と板書する時間を分けてくれるのがとてもよかったです。 ●教科書が物語形式で面白い | ●先生が間違った板書が多くてわかりにくかった。 ●板書を多くすると居眠りや私語が減ると思う |
| 授業時間数・スピード | ●進め方がゆっくりで丁寧なのでわかりやすい | ●ややこしい所は2回、3回説明してほしい ●進むスピードが速すぎて、しっかり理解出来ずに次々進まれると困る ●前回の授業から全然進んでいる気がしない。毎回同じ話をしているので参加意欲がなくなる。 |
| 副教材について | ●毎回スライドをUSBに入れてもらえるのはありがたいです。 ●プリントに見やすく、分かりやすいようにまとめている点 | ●プリントのサイズが大きすぎて整理に困る。 ●プリントを配布するか教科書に沿って進むかのどちらかで授業をしてほしい。 ●模型を前で見せるだけでなく、手元でもみれるようにしたらさらにわかりやすいと思う。 |
| 授業の環境について | ●寝ないための対策がしっかりとされているし、寝るのが勿体ないくらい分かりやすい授業だと思う。毎回の復習が大切だと感じさせられる。 | ●授業中うるさい人がいるとちょっと注意してほしいと思う ●座っている席の関係上、先生の体でスライドが隠れてしまうため、「ココとココ」と指をさされても見えない。その為、どこが重要なのかいつも分からない。 ●この時期にあると実習がかぶり、人数が減る。みんなであけたかったです |
| 教科書について | ●教科書の文章を読むだけで人の命について考えられる ●教科書に書いてない事をたくさん教えていただきました | ●教科書の範囲も同時に見ていきたいので、参考ページも授業内に話してほしいです。 ●教科書をもっと活用してほしい。 |
| 講師について | ●生徒の為に注意や指摘してくれるのでうれしい。 ●先生自身が楽しそうに授業をしているのでこちら側も興味を持てる。 ●一人一人の名前を呼んでくれるところです。 ●先生の経験談が楽しい・興味が湧きます | ●最後バタバタするならもっと早く来て欲しいです。 ●先生が授業に遅刻する時が多く、そのため授業が長引く時がおおく見受けられた ●トイレ等に行く際に、問いただされるのはプライバシー的に疑問を抱いた。生理等の場合もあるので全然帰ってこない場合を除いて聞かないべきだと思う。 |
| 授業の理解度 | ●とてもわかりやすい授業です。先生が生徒にわかりやすく伝えようとしているのが伝わります。 ●先生の授業がこの大学で最も理解しやすいです。医療者として、大学教授として、学生の求めていることを実現してくれている。 ●とてもわかりやすくして国試の過去問を解きながらすることでより理解が深まった | ●授業目的が伝わらずわかりにくい。重要なポイントが明確でない。どこを勉強すべきなのかわからないので、教科書に沿って行ってほしい。 |

平成 29 年度前期 リフレクション・ペーパーの内容について

平成 29 年度前期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みを始めています。すべてのリフレクション・ペーパーの開示は個人情報等の問題もありますので、以下に回答を抜粋しました。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 質問がほとんどないので、学生の態度や雰囲気から分かりづらく感じている点を察知する必要がある。ノートへの記載がスムーズではない、隣の人に質問をしている、回りをきよろきよろ確認しているなどの行動を見た時に、学生の傍に行き疑問点に答えるようにした。
- 授業の最後に暗記させた内容を質問し、答えさせた。さらに、1週間後の授業開始時に復習として再度質問をした。
- 教室を回りながら説明し、ランダムで当てて質問する。
- 基本的に「復習型」の学習を想定して進行した。そのため、講義の進行を直感的に捉え易くなるように、キーワードを主体としたプリントを配布した。また、復習時に教科書での学習が容易となるよう、プリントのキーワードに教科書のページ数を付記した。
- 講義の終盤では症例情報を提示して、運動学的知識を使って、症例の問題点を考えることを取り入れた。これにより、現在習っている知識が臨床でどう生きるのか、また今習っていることからのアドバンスな内容を教科書から読み取れるような学習方法を提示した。
- 毎回、事例を準備し、学生たちがイメージしやすい事例を紹介した後で、学生たちに5分間程度、座席の前後左右で話し合わせ、その後、数人に発表させた。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- 後半になって、自分の選んだテーマに関する調査報告において、情報収集・情報集約・報告書記載の内容があきらかに改善しており、本授業における反復指導は成功していると感じた。
- 重要な点を理解し、暗記内容を忘れにくくなった。|学びを楽しんでいるような表情を見ることが出来た。
- 1週間あたりの学習時間が昨年度よりも増えた。1時間以下：88.2%→64%、2～3時間程度 9.8%→22.0%、4時間以上：2.0%→14.0%
- 実技や臨床など次のステップにつなげてくれる学生が出てきた事
- 授業中に寝てしまう学生がほとんどいなかった点。
- 症例情報から考えるときは、学生の反応や解答がレベル高いものも多く、理解を促せていたと感じたし、アンケート結果も良好であった。
- ゲストスピーカーに専門性の高い看護援助については依頼したが、アンケートの結果好評を得たので来年度も依頼したい。
- 学生からの意見でもあるように、グループディスカッションで他人の意見を聞き、自分の意見を深めることができたというのは大きな成果であると考えている。
- 覚えなければならぬところを明示する点をポジティブに評価する意見があった

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- 配布資料が分厚いと学習しようという意志が低下する。重要な箇所を纏め、配布資料の枚数を減らしている。その分ラインを引くところが増える。
- グループごとのプレゼンテーションは、特定の学生に負担が偏っていたかもしれない。ワークの仕方をもう一度吟味しようと考えている。
- 学生への距離感の示し方・学習規律徹底のために、授業に無関係な発言に関して指導する必要がある
- 学生との双方向でのコミュニケーションが毎回の授業で成立するようなしなやかさを考える必要を感じた。
- 教員の意見として板書での「図」の導入をご指摘頂いた。自分自身でも「図」を板所で取り入れることは必要と感じており、講義手法（時間配分や用いる図）を検討して、板書に「図」を取り入れた講義を実践していく。
- 簡単な復習の小テストをやっても、点数に大きく差があった。
- 去年の反省も踏まえ、Discussion の場を増やしたが、もっといれて欲しいとの声も複数挙がっていたため、さらに増やしても良いのかもしれない。しかし Discussion の場を増やせば授業進行が犠牲になるため、判断が難しくはある。
- 同じ学生の欠席が目立つ。計算して休んでいるように思われるため、休まないようにするための改善策を考える。
- 講義に関しては、パワーポイントを使用する、私の一辺倒な話し方が眠気を促してしまっていたようである。教科書がなく、パワーポイントの資料を配布したので、講義中、ノートやメモをとる機会も少なかったのではないかと思います。|媒体の使用法、私の話し方は改善を要する。
- 限られた授業コマ数のなかで国試対策も含めて授業構成を立てているが、授業で伝えたい情報量が多く、授業のスピードを上げざるおえない。しかし検討が必要である。

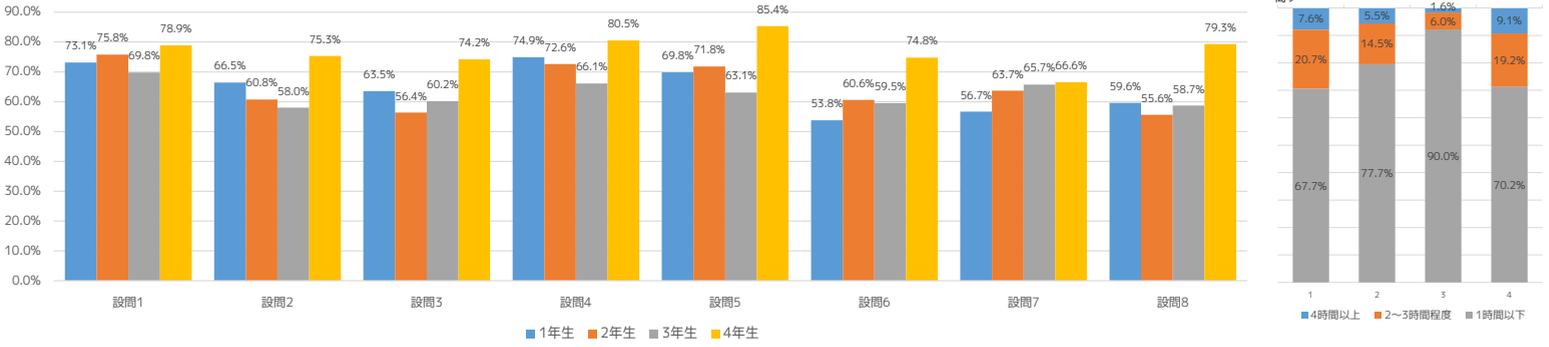
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

- 授業方法に「学びの足跡」が残るような「書く」活動を定期的に行うよう改善する
- 授業中の緊張感は今後も大事にしていきたい。分からないことをそのままにするのではなく、調べようとするなどの学習態度は、臨床に出たときの土台になることと思って、厳しく言っています。ある程度の緊張感を持ちつつ、過度に緊張しないような授業を心がけたい。
- 設問7の点数が低いことから分かるように、居眠りをしている学生が多い。また、教職員の評価の設問6の「学生の授業への熱意が感じられない」もかなり低く。バイトなど生活に関する学生側の問題もあると思うが、教員の授業運営に問題があると感じる。より良い授業にするために改善してほしい点を見ると、資料作成に関して改善する余地があるようなので、学生が興味を持って授業を受けることができるようにまず、資料を改善したい。
- 主担当教員の意図が学生に十分伝わっていないこともあり、時間外の技術指導など学生と関わる機会を利用し、学生の意見を聞いたり、主担当教員の意図を伝えていきたい。
- 反映可能なところは反映します。しかし講義の特性上、医学学習への意欲の低い学生にとっては内容量が膨大でハードルの高い講義であることはおそらく変えようがありません。学科単位で入試段階・入学後などの各段階でモチベーションを高める工夫をお願いできると助かります。

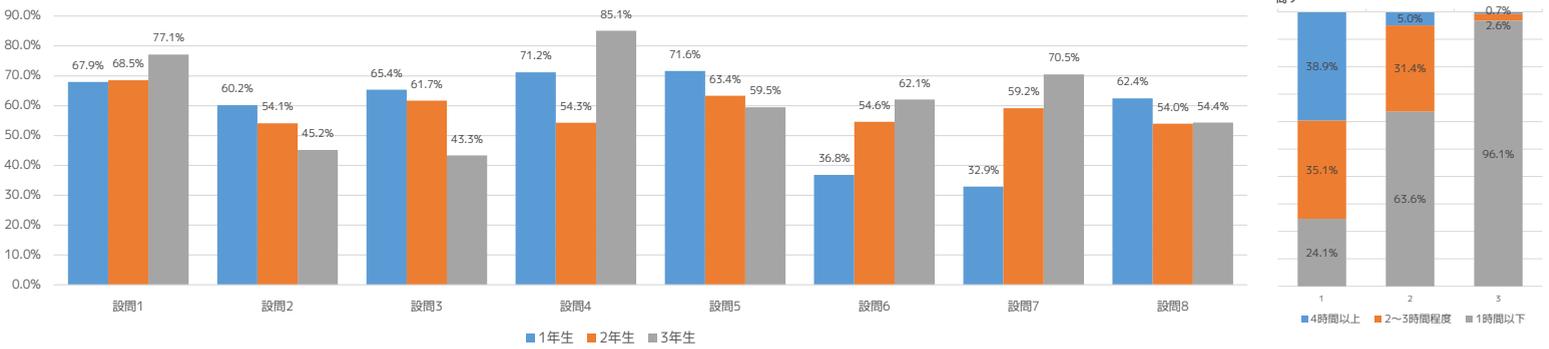
平成29年度前期 授業アンケート調査結果 (肯定意見 学科別内訳)

問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。
 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

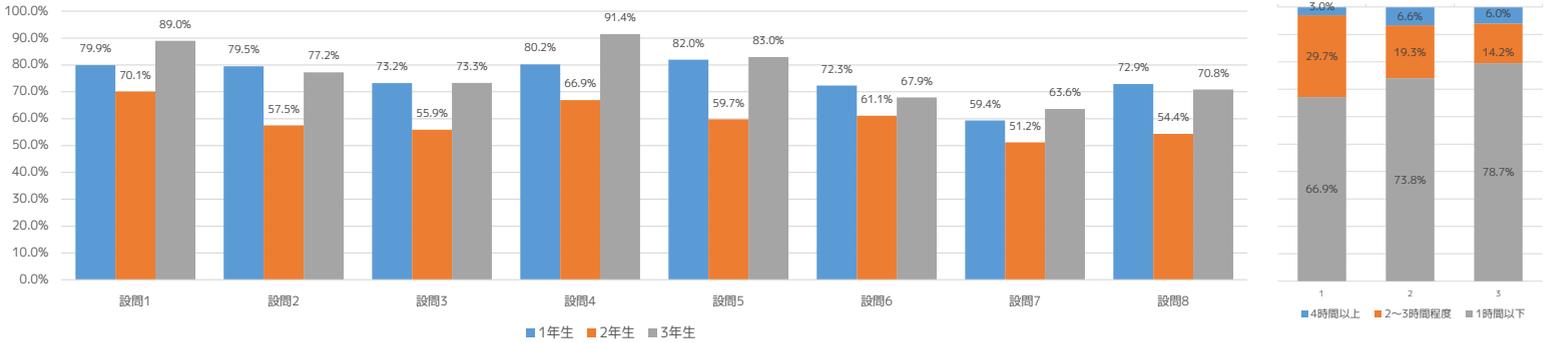
■鍼灸学科



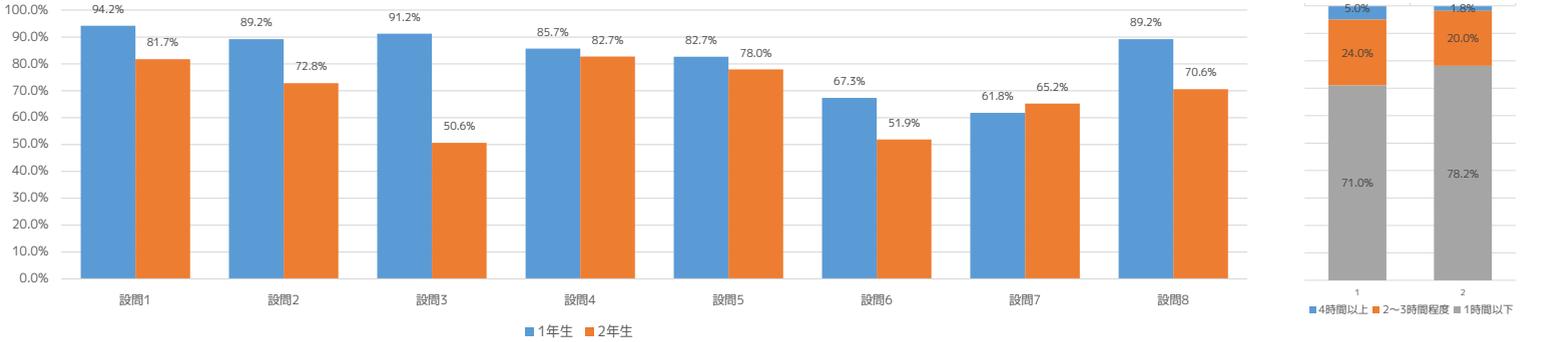
■理学療法学科



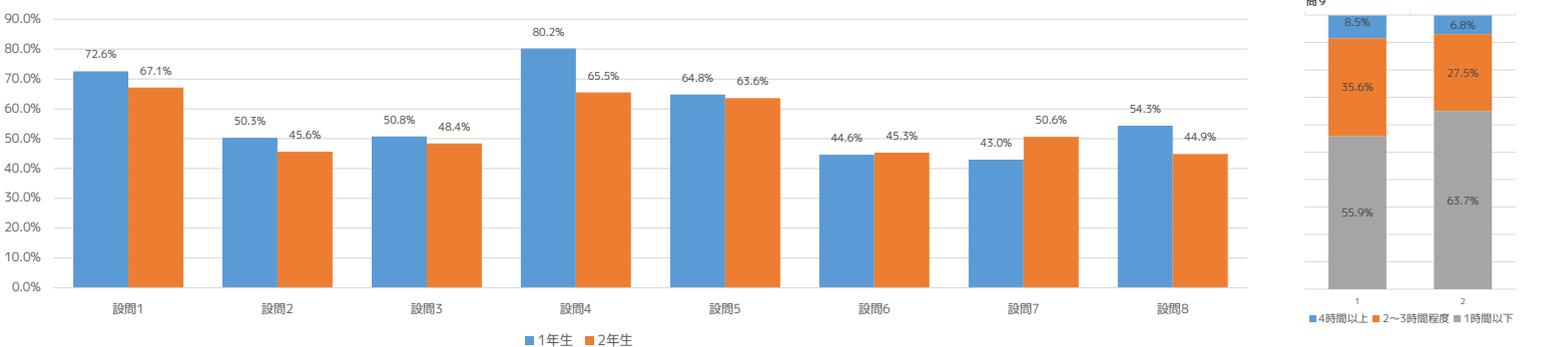
■看護学科



■作業療法学科



■臨床検査学科



平成29年度後期 授業評価アンケート調査結果

■実施科目

| 学部 教養 共通科目 | 鍼灸学科 | 2年 | 英会話Ⅱ、健康管理学Ⅱ、漢方医学概論 |
|------------------|--------|--------------|--|
| | 理学療法学科 | 2年 | 漢方医学概論 |
| | 看護学科 | 1年 | チーム医療とコミュニケーション、栄養学 |
| | | 2年 | 英会話Ⅱ、漢方医学概論 |
| | 臨床検査学科 | 1年 | 生命倫理学、哲学・宗教学、統計学 |
| | | 2年 | 栄養学、漢方医学概論 |
| 作業療法学科 | 1年 | 哲学・宗教学、社会福祉学 | |
| | 2年 | 漢方医学概論 | |
| 専門 専門 基礎科目 | 鍼灸学科 | 1年 | 生理学Ⅱ(植物生理学)、東洋医学概論Ⅱ、基礎鍼灸Ⅱ |
| | | 2年 | スポーツバイオメカニクス、人体形態機能学演習、病理学演習、東洋医学各論Ⅱ、現代医学系鍼灸学実習Ⅱ |
| | | 3年 | 臨床医学各論Ⅱ(各科)、現代医学系鍼灸学実習Ⅱ、応用鍼灸治療学Ⅴ(内科)、ケアマネジメント、学校保健(学校安全・救急処置)、 |
| | 理学療法学科 | 2年 | 臨床心理学、基礎運動療法学各論、テーピング技術論、臨床理学療法評価学Ⅱ、義肢装具学 |
| | | 3年 | 言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学 |
| | 看護学科 | 1年 | 形態機能学Ⅳ、生活援助論Ⅱ |
| | | 2年 | 臨床病態学Ⅴ、健康教育論 |
| | 臨床検査学科 | 1年 | 分析化学、微生物検査学Ⅰ |
| | | 2年 | 輸血・移植検査学、画像検査学 |
| | 作業療法学科 | 1年 | 基礎運動学、公衆衛生学、作業療法概論、作業療法評価学総論、日常生活活動学 |
| | | 2年 | 整形外科学、臨床心理学、精神障害作業療法評価学 |
| | 鍼灸学科 | 2年 | 教育心理学、生徒指導論 |
| 3年 | | 保健体育科教育法Ⅲ | |
| 看護学科 | 1年 | 養護概説、教育心理学 | |

■実施目的

本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

■質問項目

□授業の運営について

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。

□教員について

- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。

□自らの履修態度について

- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。

□自習について

- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法

上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
 「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向

ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。学校全体での傾向を把握するものであることをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。(太字部分が集計対象)。

①問1～8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「どちらかといえば**そう思う**」

②問9 「1時間以下」「**2～3時間**」「**4時間以上**」

※今回、鍼灸学科4年、理学療法学科1・4年、看護学科4年は対象授業がありませんでした。※理学療法学科3年生は対象科目が1科目、看護学科3年生は回答期限が3月上旬の科目終了後だったため、集計外としています。

| | 鍼灸学科 | | | | 理学療法学科 | | | | 看護学科 | | | | 臨床検査学科 | | 作業療法学科 | |
|--------------------|--|--------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| | 4年生 | 3年生 | 2年生 | 1年生 | 4年生 | 3年生 | 2年生 | 1年生 | 4年生 | 3年生 | 2年生 | 1年生 | 2年生 | 1年生 | 2年生 | 1年生 |
| 授業運営についての評価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問1 | 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。 | 79 → - | 70 → 81 | 76 → 66 | 73 → 79 | 77 → - | 69 → 77 | 68 → - | 89 → - | 70 → 88 | 79 → 64 | 67 → 65 | 73 → 79 | 82 → 72 | 94 → 73 | |
| 問2 | 授業内容はよくわかった。 | 75 → - | 58 → 65 | 61 → 54 | 67 → 65 | 45 → - | 54 → 61 | 60 → - | 77 → - | 58 → 76 | 75 → 61 | 46 → 44 | 50 → 56 | 73 → 54 | 89 → 57 | |
| 問3 | 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。 | 74 → - | 60 → 69 | 56 → 57 | 64 → 71 | 43 → - | 62 → 67 | 65 → - | 73 → - | 56 → 78 | 68 → 55 | 48 → 52 | 51 → 59 | 51 → 54 | 91 → 64 | |
| 教員について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問4 | この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。 | 81 → - | 66 → 81 | 73 → 65 | 75 → 79 | 85 → - | 54 → 82 | 71 → - | 91 → - | 70 → 90 | 76 → 72 | 66 → 73 | 80 → 74 | 83 → 78 | 86 → 77 | |
| 問5 | 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。 | 85 → - | 63 → 73 | 72 → 61 | 70 → 81 | 60 → - | 63 → 78 | 72 → - | 83 → - | 60 → 92 | 78 → 66 | 64 → 62 | 65 → 72 | 78 → 69 | 83 → 75 | |
| 自らの履修態度について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問6 | 熱意をもってこの授業に臨んだ。 | 75 → - | 60 → 54 | 61 → 52 | 54 → 63 | 62 → - | 55 → 73 | 37 → - | 68 → - | 61 → 73 | 67 → 55 | 45 → 53 | 45 → 57 | 52 → 53 | 67 → 60 | |
| 問7 | この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。 | 67 → - | 66 → 74 | 64 → 52 | 57 → 53 | 71 → - | 59 → 79 | 33 → - | 64 → - | 51 → 57 | 60 → 48 | 51 → 52 | 43 → 56 | 65 → 57 | 62 → 64 | |
| 問8 | 総合的にこの授業に満足している。 | 79 → - | 59 → 69 | 56 → 51 | 60 → 63 | 54 → - | 54 → 64 | 62 → - | 71 → - | 54 → 72 | 68 → 54 | 45 → 41 | 54 → 57 | 71 → 48 | 89 → 58 | |
| 自習について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問9 | 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間 | 14 → - | 4 → 14 | 10 → 9 | 14 → 48 | 2 → - | 18 → 35 | 37 → - | 10 → - | 13 → 14 | 12 → 31 | 17 → 25 | 22 → 20 | 11 → 30 | 15 → 25 | |

(平成29年度前期アンケート結果と比較)

□自由意見のまとめ

| 分類 | 分類の具体的内容 | |
|------------|--|--|
| | 興味深かった・役に立った点 | 改善してほしい点 |
| 授業の進め方・話し方 | ●毎授業、前回までのおさらいから始めてもらえるので、記憶の整理ができて定着しやすいです。 ●実際にデモンストレーションを行ってくださることで、気をつける部分などがわかりやすかった。 | ●1人ずつ当てていって、答えられなければ、成績が下がるというのはおかしい ●ひたすら先生が話すだけをやめて欲しい ●喋り方がモゴモゴして頭に入りにくい |
| 板書について | ●図を描いてわかりやすく説明していた点 | ●板書がめちゃくちゃ、どこが重要なかわからない。 ●ホワイトボードに書く際、あちこちに単語だけ書くのではなく、書く場所を揃える或いは、順番に書いていただきたい ●1枚のスライドに情報量が多すぎて大事なところなどがよくわからない |
| 授業時間数・スピード | ●途中で休憩があったのが良かったです ●じっくり時間をかけて説明していただけるのがありがたいです。 | ●時間外(休憩)時間から授業が始まることもしばしばあります ●後半の授業、焦ってるとは思いますがもう少しスピード落として欲しいです。 ●チャイムがなくても続行してしまう所。やはり人でも、パブロフの犬と一緒に音で集中力が切れてしまうので、そこで一旦やめて欲しい。 |
| 副教材について | ●アクティブラーニングのお陰で、とても理解しやすかった。 ●実際の症例を見て医療従事者になったつもりで診断するのを授業でできるのは良かったです ●配布されるレジュメがとてもわかりやすく整理されているので、しっかり理解でき、ありがたいです。 | ●教科書を見てひたすら話しているので、レジュメはほとんど役に立たない。 ●先生が言う重要な部分がレジュメになっていない点 ●小テストと授業の内容が一致してません。 |
| 授業の環境について | ●当事者の方が実際に来ていただきお話を聞けたことにより、実際の方の生活模様など鮮明に知ることが出来、また、自分でも、知らなかった事や興味関心を増やすことが出来たので、実際に来ていただきお話を聞くことは授業もそうですがとてもためになりました。 ●スマホを活用して講義を行っていたので興味深く講義に取り組めた | ●プロジェクターの使い方を理解して欲しい ●マイクを使って講義をしてほしい ●マイクのスイッチを入れマイクが拾うところで持ち話をしていただきたい ●うるさい人がいたら注意して欲しい ●講義の時間帯が5限と、かなり遅い時間帯のため、居眠りしてしまう学生が多いこと、自分も眠気と戦わなければならないことがあり、もったいなく思います。もしできればですが、3限～4限に講義をしていただけたら、より集中して講義を受けることができると思います。 |
| 教科書について | ●難しすぎる教科書だけでなくプリントを使って要点を押さえていただけてるので助かります。 ●教科書と照らし合わせて話してくれる所 | ●教科書が使われていない ●教科書のどこを読んでいるのかわからないのでページ数をはっきりおっしゃって欲しい ●個人的に教科書を汚したくないので教科書に書き込みはしたくないのでプリントが欲しい。 |
| 講師について | ●体験談を話していただいたり分かりやすかったです。 ●保険制度をしっかり学ぶ大切さを、先生の熱い語りからとても感じる内容です。 ●質問に対してとても真摯に対応して下さいました。 ●提出する用紙に、ひとりひとりにコメントを下さって、とてもマメで良いなと思いました | ●先生の声がとても小さいこと。 ●先生の言葉がきつくて、傷ついたことがあるので、言葉を選んで欲しい ●演習の際のデモンストレーションで先生がバタバタして手順など入れ替わってたりするのでそこを改善してほしい。 |
| 授業の理解度 | ●授業全体がとても興味深く、一般的に疑問に思っていることを、解剖、生理学を使って解説してくださったり、いろんな患者さんの例を挙げ、どうしたらいいか?と問題形式でしてくださるので、とても面白く、他の授業で役立っています。 ●色々な手技が見れて将来的に役立つと思う ●グループワークは、皆の意見を聞くことが出来、自分で考えていた事とは違う意見もあったので参考になりました。 | ●講義の内容を踏まえて問題を解く機会が少ないため、実際の試験ではどのように出題されるのか、どのようなことが問われるのかを把握することが難しく、せっかく理解できているのに、問題が解けないというジレンマをかかえています。宿題でもかまいませんので、問題を解く機会を増やしていただけたらありがたいです。 |

■公開授業・授業アンケート結果の閲覧

各科目の詳細は、E棟1階事務局で閲覧することができます。

平成 29 年度後期 リフレクション・ペーパーの内容について

平成 29 年度後期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みを始めています。すべてのリフレクション・ペーパーの開示は個人情報等の問題もありますので、以下に回答を抜粋しました。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 取り組んでもらった練習問題は、単に教員が解答を示すのではなく、皆さんの解答をホワイトボード上に記入してもらうことで共有してもらうことで、仮に間違いがあったとしても、その間違いがどのようにして起こったのか、それを防ぐために注意する点はどこかを示せるように、講義を展開したつもりです。
- デモンストレーションを行うに当たり、手順、ポイント、時間配分、物品配置を担当教員全員で FD した。
- 実際の状況をイメージしてもらえるように教員同士でロールプレイングも実施しました。
- 教科書の図をスキャナで取り込み、PPT にして白板に投影し、その図に書き込みながら説明をする。
- オリジナルのテキストをプリントとして用意し、教科書、国家試験、臨床全てに対応できるように工夫をしている。
- ロールプレイ、グループワーク（模擬講話・模擬カウンセリング・ブレインストーミングなど）のアクティブラーニングを取り入れた講義の実践。
- 学生にまずはデモンストレーションを見せることにより、自分が今何を目的としているのかをしっかりと意識してもらうようにした。臨床に出た時の引き出しを増やすため、2人1組の実践形式で授業を行った。手から手への細やかな実技指導を心掛けた。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- 例年よりもしっかり受講する学生が多かった気がする。肯定的な意見も多く、国家試験との関連付けを意識したことも有効だったと考える。
- 知識をどのように臨床に活かすのかという観点で、講義に加え、実技を行ったことで理解が深まったのではないと思った。
- 説明に終始せず、自分たちで考え、自分たちで動く時間を挿入したことで、学生の覚醒をできるだけ低下させずに授業進行できたと思う。
- 事前課題を提出させ、事前に学習をさせることで、講義内容の理解がしやすくなったと思う。しっかり、記録も確認することで、フィードバックもできていると思う。グループワークなど積極的に取り入れたことで、学生が主体的に学習に参画できたと思う。
- グループワークでいつまでもどこまで話し合うかをスライドで表示したことで、時間を有効に使えた点。また、教員同士でのロールプレイングは学生が興味を持って見てくれ、何となくではあるがイメージしてもらえたこと。
- 授業では、口頭での説明、板書、グループワーク、机上での実技を散りばめた。グループワークに限らず、講義中も教員が教室の前方に位置するのではなく、学生の中に入り込んでいくスタイルで取り組んだ。このことで、学生からの意見聴取がし易くなり、質問も得られ易かったと考える。
- 配布プリントは書き込み式で、ただ漫然と講義を聴くものではなかったのも、学生の集中力は保てたと思う。口頭でプリント内容をできる限りかみ砕いて説明し、学生の専門ともできる限り結び付けながら解説したことで、学生が理解しやすい講義になったようである。

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- 資料について穴埋めなどを用いることで、復習を促すことができると考えます。また、動画や画像だけでなく、実際の患者様にゲストスピーカーとしてお越しいただくことも必要だと考えております。
- 複数の教員が講義・演習にかかわっているので、一つの科目として一貫した道筋や統括が必要であると考えます。
- 1コマだけでは時間が足りない範囲を、いかに凝縮するか、いかに授業外学習につなげるかを考えていく必要がある。実技や画像評価を試験に含めるのが理想的である。
- 学生数を考えると画面の良く見える学生とそうでない学生がいるため今後はプレゼンテーション法、またグループワークなど取り入れた学修スタイルを考慮すべきだと思います。
- プリントの内容や量がやや多くなる傾向にあり、テーマを限定してもよいのではと考えている。
- 内容を丁寧に分かりやすく伝えることに時間を費やしたこともあって、どうしても教員が一方向的に話すという場面が多かった。受講者は少人数だったので、質問タイムや、ディスカッションタイムを設けるとよかったかもしれない。

4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

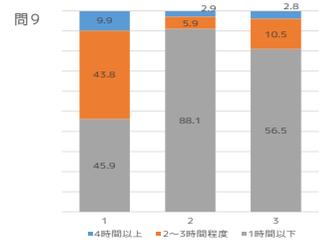
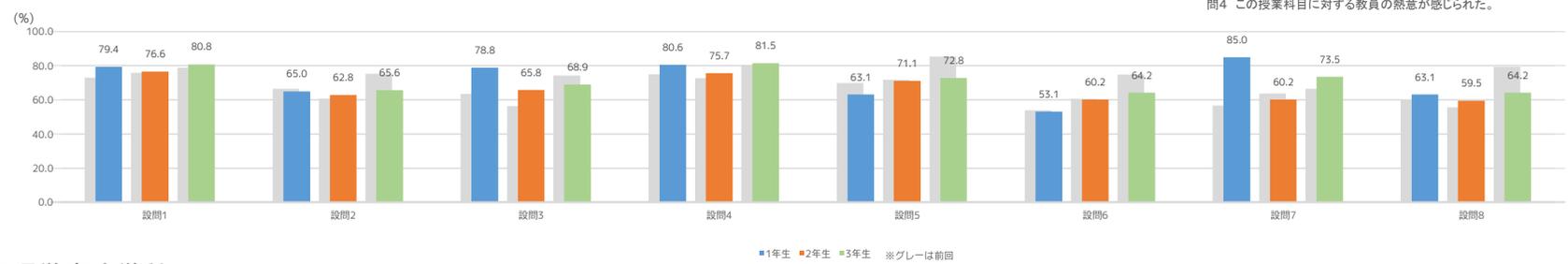
- 問題を解きたいという要望が多く見られますので、講義と演習の比について検討し、演習の時間を増やしつつ、講義の質を落とさずに済むような授業を考えてみることにします。
- 授業内の実践的課題は必要であるが、学生の理解度に合わせる必要もあるため、授業前にそれを見極めながら学生に合わせた内容を検討していきたい。授業内の課題に対する質問対応をより効果的に広く行えるよう、今後も自領域の教員と相談して取り組みたい。
- 講義内容の構成や時間配分、メリハリのつけかたに注意するとともに、自宅学習をさせるために小テストなどもやってみようかと思いました。
- 全体として、学生により熱意をもって講義に臨んでもらうという課題が見えました。講義内容の構成や時間配分、メリハリのつけかたに注意するとともに、自宅学習をさせるために小テストなどもやってみようかと思いました。
- 如何に学生を引き込んでいくかは、教員の努力と考える。ベストな方法は見つかっていないが、授業の進行や形式、講義中の話し方や学生とのやり取り、資料の作り方など、伝える側の努力と工夫が必要なため、検討していこうと考えている。
- 細かく具体的な説明と有益な資料の配布は行ったつもりだったが、伝わっていなかったようなので、授業に興味を引かせるような指導法が必要になると考える。
- 復習を省き、板書を少なくし、書き写す時間を十分にとるということであり、次年度は復習に使っていた時間を、板書を書き写す時間に充ててみたい。また講義で取り扱う内容を減らし、突っ込んだ講義は控え、平易な内容にすることも検討する

平成29年度後期 授業アンケート調査結果(肯定意見 学科別内訳)

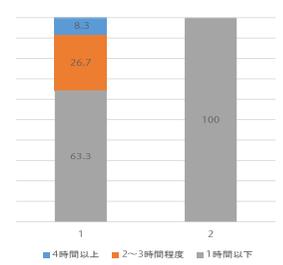
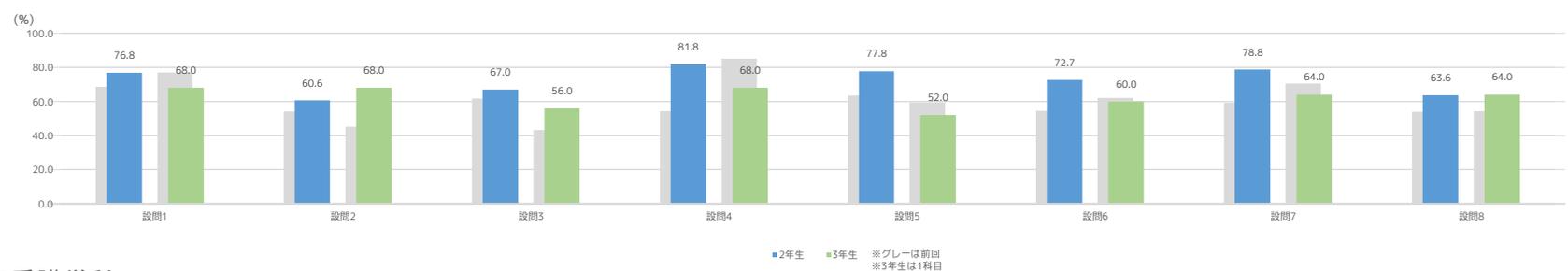
問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。

問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。
 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

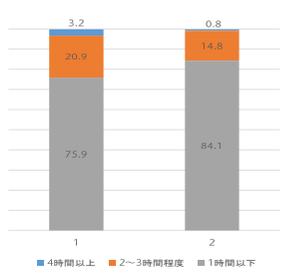
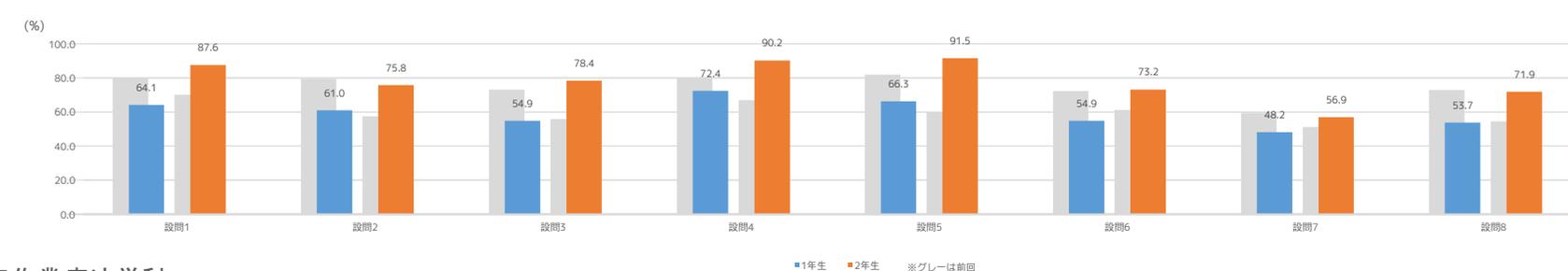
鍼灸学科



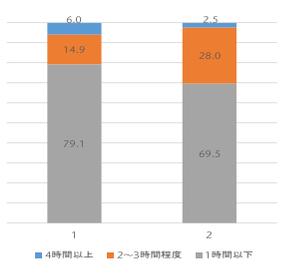
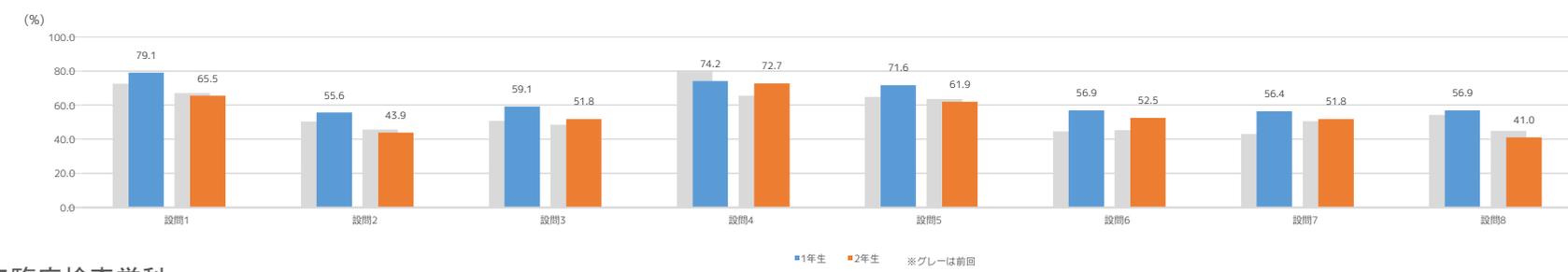
理学療法学科



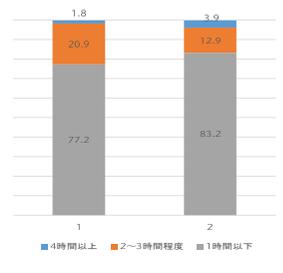
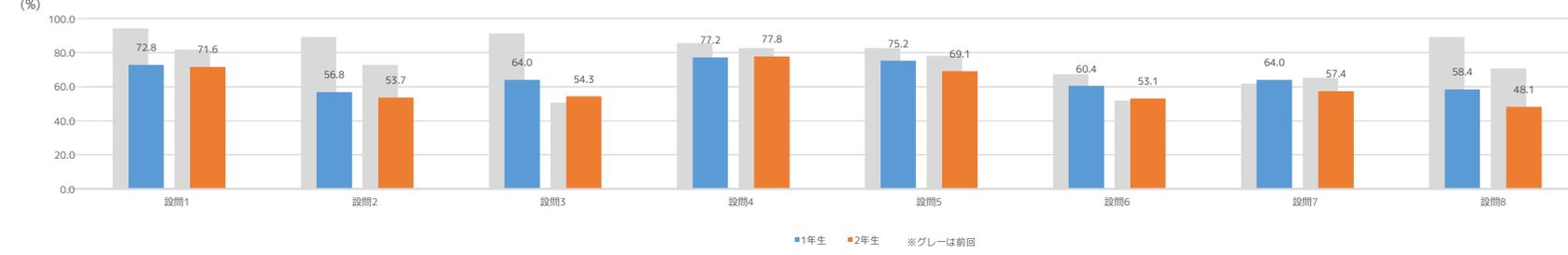
看護学科



作業療法学科



臨床検査学科



平成30年度前期 授業評価アンケート調査結果

■実施科目

| 学部 共通 科目 | 鍼灸学科 | 1年 | 健康科学（スポーツ社会学を含む）、日本国憲法 |
|----------------|--------|---|---|
| | | 2年 | 健康管理学Ⅰ、英会話Ⅰ、身体運動科学 |
| | 理学療法学科 | 1年 | 健康科学（スポーツ社会学を含む）、社会福祉学、スポーツ健康科学演習 |
| | | 2年 | 生化学、チーム医療とコミュニケーション |
| | 看護学科 | 1年 | 健康科学（スポーツ社会学を含む）、生物学、情報処理 |
| | | 2年 | 英会話Ⅰ |
| | 臨床検査学科 | 1年 | スポーツ健康科学演習、健康科学（スポーツ社会学を含む） |
| 作業療法学科 | 1年 | 人体の構造Ⅱ（神経系）、スポーツ健康科学演習、健康科学（スポーツ社会学を含む） | |
| 臨床工学科 | 1年 | 健康科学（スポーツ社会学を含む） | |
| 専門 基礎 科目 | 鍼灸学科 | 1年 | 体カトレーニング論、スポーツ実習Ⅴダンス |
| | | 2年 | 鍼灸科学概論、運動学、経穴局所解剖演習Ⅱ、運動機能検査法 |
| | | 3年 | 東洋医学系鍼灸実習Ⅱ、漢方医学各論、東洋医学系鍼灸応用実習、学校保健（小児保健・精神保健）、鍼灸安全学、画像診断学 |
| | | 4年 | 関係法規・経営論、スポーツ傷害学・栄養学、応用鍼灸治療学Ⅲ（小児・婦人科） |
| | 理学療法学科 | 1年 | 医療関係法規論、人体の機能Ⅰ（動物性機能） |
| | | 2年 | 物理療法学、精神医学、臨床運動学、整形外科学 |
| | | 3年 | 神経系理学療法学、リハビリテーション医学 |
| | 看護学科 | 1年 | 形態機能学Ⅱ、医療概論 |
| | | 2年 | 公衆衛生看護学概論、成人看護学概論、在宅看護概論、老年看護学概論 |
| | | 3年 | 小児看護援助論Ⅱ、公衆衛生看護管理論、フィジカルアセスメント、母性看護援助論Ⅱ |
| | 臨床検査学科 | 1年 | 人体の構造Ⅰ、公衆衛生学 |
| | | 2年 | 臨床化学検査学Ⅰ、医用工学概論、免疫検査学Ⅰ、血液検査学Ⅰ、一般検査学、病理学 |
| 3年 | | 寄生虫検査学 | |
| 作業療法学科 | 1年 | 基礎作業学 | |
| | 2年 | 内科学Ⅰ、高次脳機能障害作業療法評価学 | |
| | 3年 | 発達障害作業療法治療学総論、漢方医学各論、地域作業療法学 | |
| 臨床工学科 | 1年 | 人体の機能Ⅰ、医用工学 | |
| 教職 課程 | 鍼灸学科 | 1年 | 教育原理、教職論 |
| | | 2年 | 教育課程論、特別活動論 |
| | | 3年 | 教育方法論 |
| 看護学科 | 1年 | 教職論 | |
| | 2年 | 生徒指導論、教育課程論 | |
| 助産学専攻科 | 1年 | 助産診断実践学Ⅰ | |

■実施目的

本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。
また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

■質問項目

□授業の運営について

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
問2 授業内容はよくわかった。
問3 教員からのプレゼンテーション（教科書、板書、映像、教材、配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。

□教員について

- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。

□自らの履修態度について

- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
問8 総合的にこの授業に満足している。

□自習について

- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法

上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向

ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。
学校全体での傾向を把握するものをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。（太字部分が集計対象）。

①問1～8 【**そう思う**】「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思う**」

②問9 「1時間以下」【**2～3時間**】【**4時間以上**】

※今回、理学療法学科・看護学科4年は対象授業がありませんでした。

※臨床検査学科3年生の対象科目は1科目でした。

| | 鍼灸学科 | | | | 理学療法学科 | | | | 看護学科 | | | | 臨床検査学科 | | | 作業療法学科 | | | 臨床工学科 |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 1年生 | 1年生 | | |
| | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | | |
| 授業運営についての評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。 | 73 → 81 ↑ | 76 → 81 ↑ | 70 → 78 ↑ | 79 → 88 ↑ | 68 → 89 ↑ | 69 → 83 ↑ | 77 → 69 ↓ | | 79 → 79 → | 70 → 72 ↓ | 89 → 84 ↓ | | 73 → 88 ↑ | 67 → 67 → | → 14 → | 94 → 93 → | 82 → 71 ↓ | → 70 → | → 80 → |
| 問2 授業内容はよくわかった。 | 67 → 80 ↑ | 61 → 75 ↑ | 58 → 66 ↑ | 75 → 81 ↑ | 60 → 78 ↑ | 54 → 66 ↑ | 45 → 40 ↓ | | 75 → 75 → | 58 → 49 ↓ | 77 → 72 ↓ | | 50 → 80 ↑ | 46 → 50 ↑ | → 0 → | 89 → 87 ↓ | 73 → 55 ↓ | → 54 → | → 66 → |
| 問3 教員からのプレゼンテーション（教科書、板書、映像、教材、配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。 | 64 → 77 ↑ | 56 → 76 ↑ | 60 → 70 ↑ | 74 → 80 ↑ | 65 → 77 ↑ | 62 → 70 ↑ | 43 → 41 ↓ | | 68 → 73 ↑ | 56 → 53 ↓ | 73 → 75 ↑ | | 51 → 76 ↑ | 48 → 51 ↑ | → 0 → | 91 → 82 ↓ | 51 → 60 ↑ | → 61 → | → 64 → |
| 教員について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。 | 75 → 83 ↑ | 73 → 82 ↑ | 66 → 76 ↑ | 81 → 87 ↑ | 71 → 80 ↑ | 54 → 76 ↑ | 85 → 65 ↓ | | 76 → 76 → | 70 → 69 ↓ | 91 → 88 ↓ | | 80 → 80 → | 66 → 67 ↑ | → 14 → | 86 → 86 → | 83 → 81 ↓ | → 85 → | → 75 → |
| 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。 | 70 → 85 ↑ | 72 → 83 ↑ | 63 → 84 ↑ | 85 → 90 ↑ | 72 → 77 ↑ | 63 → 75 ↑ | 60 → 60 → | | 78 → 80 ↑ | 60 → 66 ↑ | 83 → 84 ↑ | | 65 → 77 ↑ | 64 → 58 ↓ | → 5 → | 83 → 87 ↑ | 78 → 77 ↓ | → 72 → | → 66 → |
| 自らの履修態度について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。 | 54 → 74 ↑ | 61 → 74 ↑ | 60 → 63 ↑ | 75 → 74 ↓ | 37 → 68 ↑ | 55 → 65 ↑ | 62 → 54 ↓ | | 67 → 66 ↓ | 61 → 54 ↓ | 68 → 72 ↑ | | 45 → 73 ↑ | 45 → 54 ↑ | → 16 → | 67 → 81 ↑ | 52 → 58 ↑ | → 56 → | → 61 → |
| 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。 | 57 → 64 ↑ | 64 → 70 ↑ | 66 → 63 ↓ | 67 → 76 ↑ | 33 → 60 ↑ | 59 → 62 ↑ | 71 → 60 ↓ | | 60 → 61 ↑ | 51 → 52 ↓ | 64 → 66 ↑ | | 43 → 60 ↑ | 51 → 51 → | → 48 → | 62 → 76 ↑ | 65 → 64 ↓ | → 60 → | → 51 → |
| 問8 総合的にこの授業に満足している。 | 60 → 70 ↑ | 56 → 70 ↑ | 59 → 62 ↑ | 79 → 70 ↓ | 62 → 77 ↑ | 54 → 66 ↑ | 54 → 32 ↓ | | 68 → 70 ↑ | 54 → 49 ↓ | 71 → 70 ↓ | | 54 → 71 ↑ | 45 → 50 ↑ | → 0 → | 89 → 79 ↓ | 71 → 58 ↓ | → 54 → | → 55 → |
| 自習について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間 | 14 → 22 ↑ | 10 → 29 ↑ | 4 → 11 ↑ | 14 → 18 ↑ | 37 → 10 ↓ | 18 → 53 ↑ | 2 → 22 ↑ | | 12 → 22 ↑ | 13 → 35 ↑ | 10 → 53 ↑ | | 22 → 37 ↑ | 17 → 35 ↑ | → 34 → | 15 → 57 ↑ | 11 → 28 ↑ | → 19 → | → 48 → |

(平成29年度前期アンケート結果と比較)

□自由意見のまとめ

| 分類 | 分類の具体的内容 | |
|------------|--|--|
| | 興味深かった・役に立った点 | 改善してほしい点 |
| 授業の進め方・話し方 | ●国家試験の過去問を最後に解く時間があるからいい ●要点だけしっかり伝えてくれてわかりやすい。 ●私が受けている授業の中で、最も生徒のためになり、最も生徒のことを考えている授業だと思います。国家試験問題などの要点をしっかり押さえて、先生の見識に富むお話を展開される授業は、今後の役に立つだけではなく、学校生活への姿勢も考えさせられる素晴らしいものです。 | ●忘れないように細かく小テストで欲しいです。 ●喋るのが速いというか、発音が速い。そのせいか時々単語として成立していない時がある。 ●重要なことを言うけれど一瞬すぎて聞き取れないときがある。もっと強調して言って欲しいです。私達のレベルが低いからって、なんだか見下されてる感じがします。頭がいいひといるので、その高圧的な態度は如何なものかと思えます。あと、いちいち言い方が癪に障ります。 ●スライドと授業をしているように講師が学生側を全く見ていない。 |
| 板書について | ●先生のスライドがとても、わかりやすい。 ●絵でイメージしやすくしている ●先生が黒板にかく図がとてもわかりやすい。 | ●字が読めず白板のあちらこちらに書くのではなく、字を綺麗に書き(崩し字ではなく)、そしてだいたい書く順番(白板の左から右へと書くなど)を決めてほしいです。 ●説明、板書がへた何について説明しているか分からないことが多かった。 ●資料を書き込むのはいいと思いますが、一部の友達のスライドを撮るシャッター音がとてもうるさいので注意するか、書き込む量を減らしてください。 |
| 授業時間数・スピード | ●課題が重なっているときに調整して頂けたことは看護のときに無かったことで、しっかり学習できる時間が確保されてよかった。 ●授業の早さが丁度いい ●遅れている子がいたら止まって助けてくれる。全員ができてから次の段階に進むので助かります。 | ●時間配分の授業をしているのに、時間配分通りに終わらず中途半端に終わる授業、遅刻して謝りなし。授業始まってから準備しているのに、私たちが授業始まってから、教科書を忘れて取りに行ったら注意される。そして、自分も忘れて後から取りに行く。 ●授業のペース、スライドを回すスピードが速すぎる場所が多いです。 |
| 副教材について | ●パワーポイントのデータを頂けること。 ●過去問を用意してくれるのがとても有り難い。 ●復習用のプリントを配ってくださるので、どの辺りが重要なかがよく分かった。 | ●枚数が多くなっても構わないのでA4のクリアファイルに入る程度のレジュメにして頂きたかった。 ●わざわざ90分かけるプリントの量ではないと思う。 ●参考になるプリントを配布してくれるのは嬉しいのですが、量が多すぎて授業でほとんど触れてないです。 |
| 授業の環境について | ●他学科の人たちと交流する機会ができてよかった。 ●モリバで配信もしてくれているので家での勉強も非常にしやすい。 ●全員がしっかりと楽しめるように工夫されている | ●真面目に受けている生徒が少ない。 ●生徒の話し声で教員の声が聞き取りにくかったこと、生徒の話し声で授業に集中できなかったこと ●実習時、ホワイトボードが見えないので位置を改善してほしい。 ●わざわざ90分かけるプリントの量ではないと思う。 |
| 教科書について | ●教科書に沿って話が進んでいくのでわかりやすかったです。 ●学科の教科書からもわかりやすい資料を参考にしている為になる ●教科書を用いて実際の症例写真などを見、病状などを知れたのでわかりやすかったです | ●教科書と違う数値になっていると間違っているかどうかの確認がしにくいので、数値のミスが減らしてほしいです。 ●きちんと板書して、教科書のどこをやっているか説明してほしい。 |
| 講師について | ●優しく、また、こちらの意見を聞き入れながら授業を行ってくれるので偉そうに言う先生の授業に比べやる気になる。 ●一生懸命要点を伝えようとしていただける熱意に感謝しています。 ●理解できずまで熱心に教えてくださるのでやる気も出ます。 | ●うるさすぎる人がいるのでそういう人をちゃんと退出させてほしい ●滑舌が悪く、声が聞き取りにくい。文末まではっきり喋って欲しい。 ●小テストで誰が何点取ったかは、プライバシーの観点から取りやめた方がよいと思います。実際、発表されて気分を害した生徒が見られます。 |
| 授業の理解度 | ●栄養学は誤認識をしていた知識を正してくれてすごくいい授業でした。 ●毎回役に立つことばかりで、本当に楽しいと思える授業です！ ●なぜこのような事が起きるかを詳しく、わかりやすく教えてくださるため、毎回の授業が興味深く、ほかの授業にも役に立っています。 | ●授業が全体的にわかりにくい ●講義の授業が大変わかりにくい。 ●よく分からないのでテストを簡単にしてほしい |

平成 30 年度前期 リフレクション・ペーパーの内容について

平成 30 年度前期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。

(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取組みを始めています。

すべてのリフレクション・ペーパーをご覧になりたい場合は、教務室までお越しください。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点 p

- 一方的な情報伝達形式にならないよう必ずワークの時間を設けて、自分で資料を読ませ、その日のテーマについて深く考えさせるようにした。また、疑問があっても質問しない傾向が強いので、質問者を決めて当日または日ごろ当該科目に関して思っている疑問を質問させた。
- こちらからの一方通行ではなく学生からの質問や、意見を出しやすい投げかけを行った
- 毎回、パワーポイントによる授業を展開した。ビデオ教材を使用したり、アニメーションを利用することで、学生が、内容を丸覚えするのではなく、内容を理解して、実生活や他教科で習ったこととリンクさせることが出来るように工夫した。
- PowerPointでの授業であったが、ただ聞き流す学生が多く、また、居眠りをする学生も稀にいたため、途中から板書中心の授業展開にした。結果、学生からは不評であり、逆に授業のポイントがわかり辛くなったとの意見をもらった。
- すべての学生がついていけるように、毎回講義の終わりに、その時間内で聞いた内容で必ず解ける問題を練習問題という形で国家試験出題問題に準拠した問題から解いてもらい、知識の整理および早いうちから国家試験問題に慣れていけるようにした。
- 自宅等で一人でもできるように、テキストのどこに記載があるか、テキストの説明が不十分な場合は書き加えることを追加で伝えて、一人で行えるようなフォローをした。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- 小テストを初めて取り入れた。その結果、授業中の集中度 UP と授業外での勉強 UP に繋がった。
- 学生の顔を見て授業を進めていくときに、分からない様な顔をしている学生にあえて質問をしてもう一度説明することで、全体の理解力がアップするのを感じた点です。
- 再試験対象者が出ることなく、最低限の学習目標に全員が到達できた点。
- 1つの説明が終了した後に国試問題を入れ刺激をしたことで寝る学生が少なかった。
- 教員が想像する臨床と学生が想像する臨床の場面の相違がみえた。
- 工夫した点に記載した通り、学生の方を見て話をするようにしたところ、「今の話し方ではうまく伝わっていないな」または「しっかり理解してもらえたな」など、学生の表情から察することができるようになった。また、目が合うことで発言しやすくなったのか、学生からの質問も昨年と比べて増加したように感じました。
- 小テストをこまめに行い、中間・期末テストに向けた勉強のやり方を具体的に伝えた結果、自宅学習は効率よく行うことができたことが、中間・期末テストの結果からうかがえる。
- 学生達が講義中の質疑応答から新たな疑問を抱き、その内容を手分けして調べてまとめ上げ、教員に対して、学生自身が講義を行った。学術的専門分野が異なる教員と学生が、それぞれの専門性から同じ生命現象（この時は骨粗しょう症であったが）について講義し合った経験は、私自身非常に楽しい学びであった。

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- 毎回そうなのですが、講義内容の難易度について設定が難しく感じる場合があります。もっともっと、授業を立体的にかつ身近な例を取り入れるなど工夫をしてイメージしやすい教材を作成する必要があると感じています。
- 限られた時間に最大の情報を伝えようとすると、どうしても早口になるのは自分の欠点なので注意したいと思います。
- 学生への投げかけ方を柔らかくしたり、講義の強弱をつけたつもりが集中力が途切れるので「笑い」は要らないとの一意見があった。今後の参考にしたい
- プリントの流れと実際の授業の流れが異なることがあり、学生を混乱させたことがあったので、修正していきたい。
- 演習前後にレポートを課しているが、他の教科目の課題もあり時間に追われるためか、内容を理解しないまま埋めてきているだけのレポートが非常に多い。また、演習後のレポートは特に考察が考察になっておらず、テキストに記載されている留意点や教員が口頭で強調した点を学びとして記述しているものが目立つ。今後は演習で経験したことに基づいたレポートが作成できるような工夫が必要であると考えます。
- 学習に対して与えられることに慣れており、もっと主体的に学習できるような工夫は必要である。
- せっかく学生に購入させたので、もう少し教科書を使う機会を増やしても良かった。

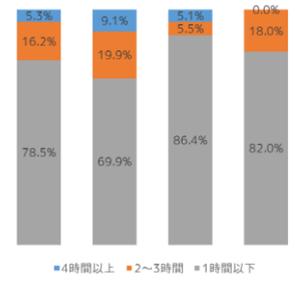
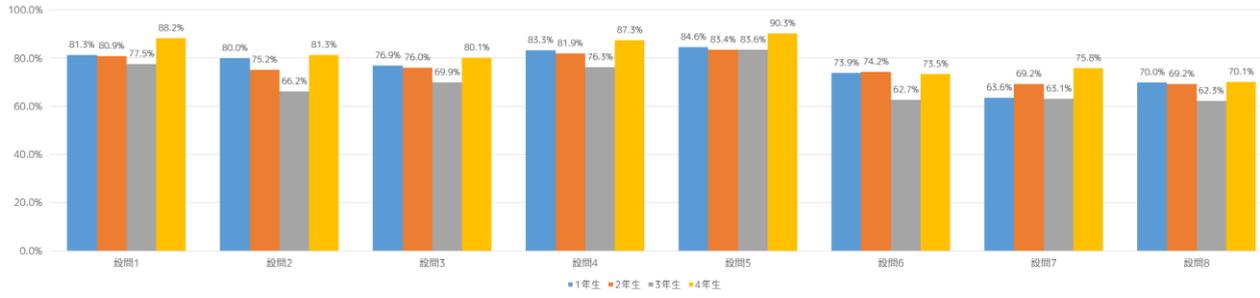
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

- 授業中の学生の作業や質疑応答を増やし、参加型の授業にしていきたい。
- 例年、演習は複数名で担当し、講義は主担当教員が担当してきたが、今年度は講義も複数の教員が入れ替わりで担当した。いろんな教員の伝え方によって視野を広げて教授できることを期待していたが、学生からすれば、講義と演習のつながりや内容がパターンとして定まらず、戸惑いがあったのではないかと考える。担当教員が変わっても、1つの教科目を担当するという観点から、一貫性を教員間で確認した上で授業の方法論を検討すべきであると思う。次年度は、この点を改善する、あるいは、講義担当者を従来どおり主担当教員のみにするすることで、学生が効果的に授業に臨めるようにしたい。
- 講義中に居眠り等態度面の注意をすると、ごく一部の学生であるが、アンケートに名指しで「辞めろ」と記載されることがある。とても心が傷つくので、あまり注意したくないなという思いになってしまう。前向きな学生の意見には応えようと毎回努力をしているつもりである。
- あまり注意しないといった指摘に対しては、数年すれば先生と患者から言われる立場であり学生をある程度大人とみていた。しかし厳しくした方がいいという生徒からの要望があるのならば今後は注意することに加え授業態度も評価に影響させることを考慮するとする。
- 私の講義内では、積極的に発言して頂いて良い。少人数の利点を活かして教員と学生の議論が起る講義を学生と協力し行いたい。

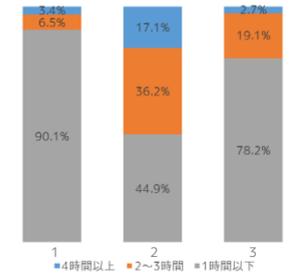
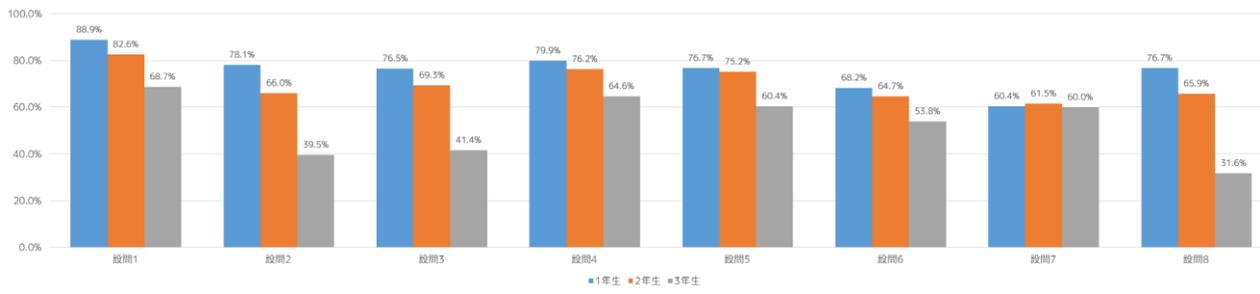
平成30年度前期 授業アンケート調査結果 (肯定意見 学科別内訳)

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
- 問2 授業内容はよくわかった。
- 問3 教員からのプレゼンテーション（教科書、板書、映像、教材、配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
- 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
- 問7 この授業で遅刻、欠席、居残り雑談などをしていない。
- 問8 総合的にこの授業に満足している。
- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

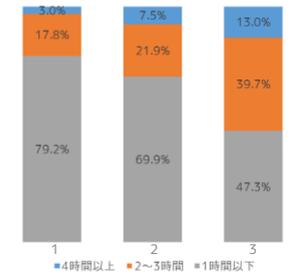
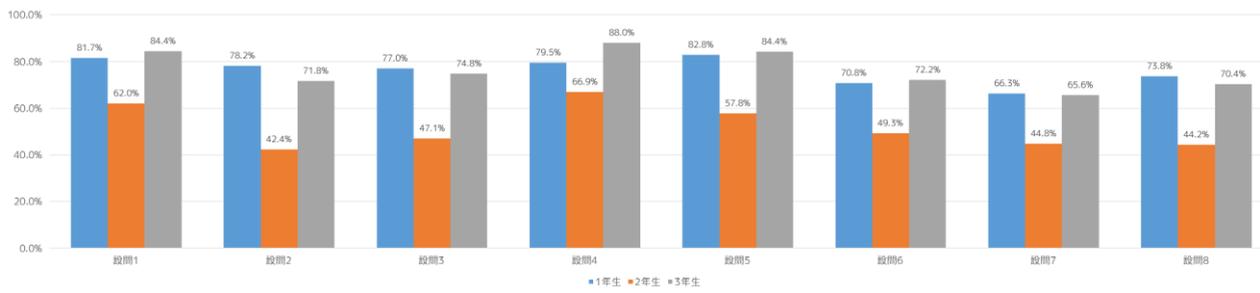
■鍼灸学科



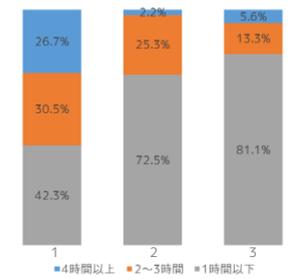
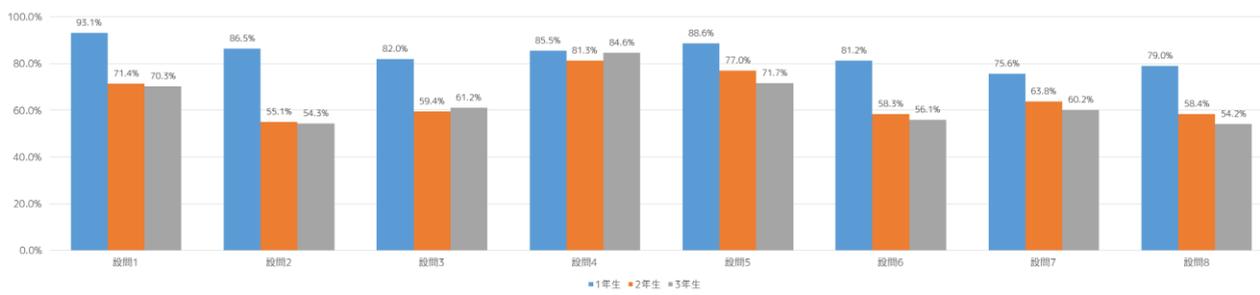
■理学療法学科



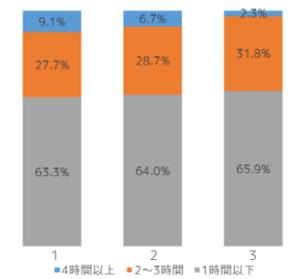
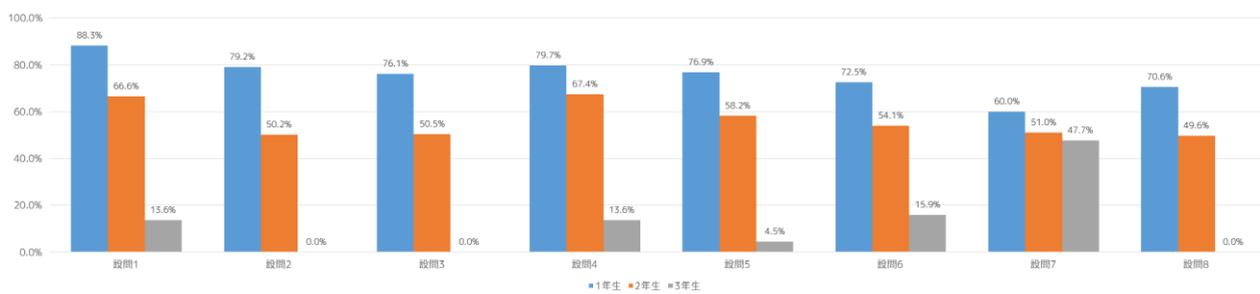
■看護学科



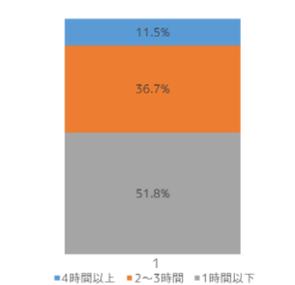
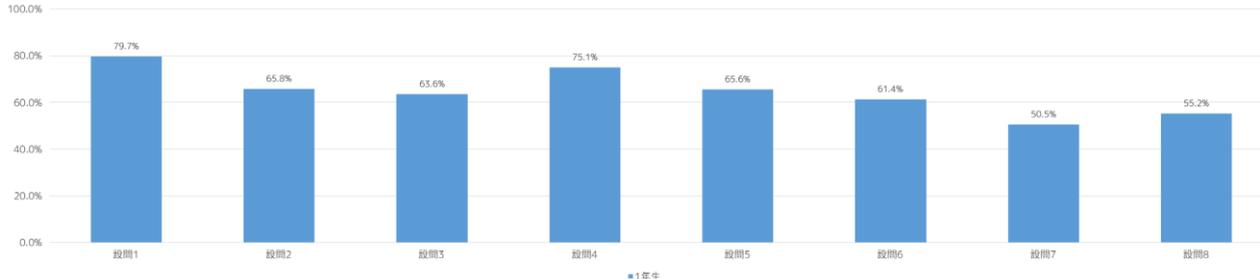
■作業療法学科



■臨床検査学科 ※3年生の対象科目は1科目のみのため、極端な結果になっています



■臨床工学科



平成30年度後期 授業評価アンケート調査結果

■実施科目

| | | | |
|---------------------------|--------|----------------|--|
| 学部 共通 科目 目 | 鍼灸学科 | 1年 | 東洋医療概論 |
| | | 2年 | 英会話Ⅱ |
| | 理学療法学科 | 1年 | 英語Ⅱ(中級) |
| | | 2年 | 英会話Ⅱ、漢方医学概論 |
| | 看護学科 | 1年 | 哲学 |
| | | 2年 | 東洋医療概論 |
| | 臨床検査学科 | 1年 | 統計学、生命倫理学、哲学・宗教学 |
| 2年 | | 漢方医学概論 | |
| 作業療法学科 | 1年 | 英語Ⅱ(中級)、哲学・宗教学 | |
| | 2年 | 漢方医学概論 | |
| 臨床工学科 | 1年 | 栄養学、東洋史概説 | |
| 専門 専門 基礎 科目 目 | 鍼灸学科 | 1年 | 東洋医学概論Ⅱ、生理学Ⅱ(植物生理学)、トレーニング科学演習Ⅱ(エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング) |
| | | 2年 | 現代医学系鍼灸実習Ⅱ、東洋医学系鍼灸実習Ⅰ、東洋医学各論Ⅱ、病理学演習 |
| | | 3年 | スポーツ心理学、学校保健(学校安全・救急処置)、応用鍼灸治療学Ⅴ(内科)、現代医学系鍼灸応用実習、応用鍼灸治療学Ⅷ(美容・未病)、スポーツ実習Ⅱサッカー |
| | 理学療法学科 | 1年 | 基礎運動学、臨床心理学 |
| | | 2年 | 小児科学(人間発達学)、テーピング技術論、義肢装具学 |
| | | 3年 | 言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学、救急処置法 |
| | 看護学科 | 1年 | 公衆衛生学、生化学 |
| | | 2年 | 精神看護援助論Ⅰ |
| | | 4年 | 災害・国際看護論 |
| | 臨床検査学科 | 1年 | 生化学各論、人体の構造実習、微生物検査学Ⅰ |
| | | 2年 | 輸血・移植検査学 |
| | | 3年 | 食品衛生学 |
| | 作業療法学科 | 1年 | 日常生活活動学、基礎運動学、公衆衛生学 |
| | | 2年 | 介護学概論・ボランティア活動論、精神医学各論、臨床心理学 |
| | | 3年 | 言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学、老年期障害作業療法治療学各論 |
| 臨床工学科 | 1年 | 電気工学Ⅱ | |
| 教職 課程 | 鍼灸学科 | 2年 | 教育相談の基礎と方法、道徳教育論、保健体育科教育法Ⅳ、教育心理学 |
| | 看護学科 | 1年 | 教育心理学 |
| | | 2年 | 教育相談の基礎と方法、道徳教育論、特別活動論、健康教育論 |

■実施目的

本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

■質問項目

□授業の運営について

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
問2 授業内容はよくわかった。
問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。

□教員について

- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。

□自らの履修態度について

- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
問8 総合的にこの授業に満足している。

□自習について

- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法

上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向

ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。学校全体での傾向を把握するものであることをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。(太字部分が集計対象)

①問1~8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「どちらかといえば**そう思う**」

②問9 「1時間以下」**2~3時間**「4時間以上」

※今回、鍼灸学科4年生・理学療法学科4年生・看護学科3年は対象授業がありませんでした。

※看護学科4年生の回答数が極端に少なかったため、集計除外としています。

| | 鍼灸学科 | | | | 理学療法学科 | | | | 看護学科 | | | | 臨床検査学科 | | | 作業療法学科 | | | 臨床工学科 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|---------|--------|-----------|--------|---------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|--------|-------|
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 1年生 | |
| | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 | 前回→今回 |
| 授業運営についての評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問1 | 79 → 81 ↑ | 66 → 89 ↑ | 81 → 86 ↑ | — — — — | — 78 — | 77 → 79 ↑ | — 75 — | — — — — | 64 → 83 ↑ | 88 → 81 ↓ | — — — — | — — — — | 79 → 70 ↓ | 65 → 32 ↓ | — 33 — | 73 → 82 ↑ | 72 → 68 ↓ | — 89 — | — 92 — | |
| 問2 | 65 → 66 ↑ | 54 → 76 ↑ | 65 → 77 ↑ | — — — — | — 75 — | 61 → 63 ↑ | — 65 — | — — — — | 61 → 66 ↑ | 76 → 59 ↓ | — — — — | — — — — | 56 → 50 ↓ | 44 → 25 ↓ | — 33 — | 57 → 50 ↓ | 54 → 64 ↑ | — 72 — | — 77 — | |
| 問3 | 71 → 70 ↓ | 57 → 80 ↑ | 69 → 74 ↑ | — — — — | — 72 — | 67 → 64 ↓ | — 43 — | — — — — | 55 → 65 ↑ | 78 → 60 ↓ | — — — — | — — — — | 59 → 54 ↓ | 52 → 28 ↓ | — 38 — | 64 → 57 ↓ | 54 → 58 ↑ | — 83 — | — 85 — | |
| 教員について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問4 | 79 → 81 ↑ | 65 → 86 ↑ | 81 → 89 ↑ | — — — — | — 75 — | 82 → 75 ↓ | — 79 — | — — — — | 72 → 76 ↑ | 90 → 79 ↓ | — — — — | — — — — | 74 → 65 ↓ | 73 → 75 ↑ | — 57 — | 77 → 88 ↑ | 78 → 77 ↓ | — 83 — | — 87 — | |
| 問5 | 81 → 73 ↓ | 61 → 86 ↑ | 73 → 84 ↑ | — — — — | — 79 — | 78 → 79 ↑ | — 74 — | — — — — | 66 → 72 ↑ | 92 → 70 ↓ | — — — — | — — — — | 72 → 73 ↑ | 62 → 24 ↓ | — 38 — | 75 → 79 ↑ | 69 → 70 ↑ | — 78 — | — 78 — | |
| 自らの履修態度について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問6 | 63 → 64 ↑ | 52 → 77 ↑ | 54 → 78 ↑ | — — — — | — 68 — | 73 → 53 ↓ | — 62 — | — — — — | 55 → 41 ↓ | 73 → 40 ↓ | — — — — | — — — — | 57 → 51 ↓ | 53 → 24 ↓ | — 24 — | 60 → 45 ↓ | 53 → 55 ↑ | — 83 — | — 74 — | |
| 問7 | 53 → 59 ↑ | 52 → 69 ↑ | 74 → 71 ↓ | — — — — | — 66 — | 79 → 48 ↓ | — 61 — | — — — — | 48 → 56 ↑ | 57 → 48 ↓ | — — — — | — — — — | 56 → 56 — | 52 → 50 ↓ | — 29 — | 64 → 41 ↓ | 57 → 51 ↓ | — 89 — | — 61 — | |
| 問8 | 63 → 65 ↑ | 51 → 73 ↑ | 69 → 74 ↑ | — — — — | — 73 — | 64 → 64 — | — 66 — | — — — — | 54 → 62 ↑ | 72 → 52 ↓ | — — — — | — — — — | 57 → 52 ↓ | 41 → 15 ↓ | — 24 — | 58 → 71 ↑ | 48 → 57 ↑ | — 72 — | — 84 — | |
| 自習について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問9 | 48 → 34 ↓ | 9 → 30 ↑ | 14 → 28 ↑ | — — — — | — 36 — | 35 → 20 ↓ | — 5 — | — — — — | 31 → 14 ↓ | 14 → 15 ↑ | — — — — | — — — — | 20 → 31 ↑ | 25 → 24 ↓ | — 5 — | 25 → 26 ↑ | 30 → 13 ↑ | — 89 — | — 20 — | |

(平成29年度後期アンケート結果と比較)

□自由意見のまとめ

| 分類 | 分類の具体的内容 | |
|------------|--|---|
| | 興味深かった・役に立った点 | 改善してほしい点 |
| 授業の進め方・話し方 | ●繰り返し重要なことを言ってくれる ●毎回の小テストのお陰で勉強する癖が着いてきた。 ●体を触っての授業のため、どの筋肉がどこにあるのかわかりやすい。 ●聞くだけでなく、練習問題など自分で手を動かして作業する時間があるのが良いです。 ●先生の話し方や説明が上手くていつもわかりやすいです。 | ●「～なんですよ」とかですごく気が散りました。 ●今日は何するかリストみたいなのがほしい ●聞いているだけの授業が少ししんどいので改善してほしいです。 ●授業中早口すぎて、ついていけないため、もう少し生徒をみて授業してほしい |
| 板書について | ●最近板書が多いのでわかりやすくありがたいです ●黒板の字をノートに書く際、時間をしっかりあげてくれること | ●ホワイトボードに長文を書かれると見えにくい。 ●書いたものを直ぐに消さないで欲しいです。 ●ホワイトボードの字が見えづらいので、もっと大きく書いてほしいです。 ●ホワイトボードのインクを濃い色、黒とかで書いて欲しい。後ろからだとにも見えません。 |
| 授業時間数・スピード | ●授業中に質問があり、参加型の授業となっているので時間が経つのが早い。 | ●スピード感があって良いのですが、たまに追いつかない時があります。 ●スライドをめくるのが早いため写すことができないので少しゆっくり目にめくってほしい。 ●授業時間が過ぎるときがあるので時間通りに終わってほしいです。 ●寝ている人にペースを調節するのではなく、起きている人にそれなりの価値を与えるように、焦点を合わせて進めていけばいいのではないかと。 |
| 副教材について | ●復習しやすいプリントなので助かっています ●授業で話してくれることがプリントに全部載せてくれるから、大事なところは補足で書き込めるしとても良い ●授業前の前回の振り返りのプリントは役に立つ復習できるからとても嬉しいです | ●資料が文字だけでなくどこが重要かわからないし、ここが重要と教えてくれるのが少な過ぎる。 ●レジュメにないスライドは写す時間を十分にとるか、予めレジュメに用意してほしい。 ●パワーポイントで授業するから、パワーポイントをプリントにしてそれも配布しつつ授業して欲しい。パワーポイントは私の手元に残らないので、復習しづらい。 |
| 授業の環境について | ●教科書ではわからなかった、組織の構造が顕微鏡で、観察してスケッチをすることによってとても理解できるようになった。 ●光学顕微鏡を使えるようになったのが楽しい。 ●出席してるかどうかの確認を先生自身が行っている。欠席している人の出席に○していることが減って嬉しい。 | ●もっと明るい雰囲気や授業してほしい ●マイクを使った方がいいと思う ●指定席にして欲しい。自由席だから皆喋ってるから学籍番号順の指定席にして欲しい。 ●学生の私語が多いのは残念です。 |
| 教科書について | ●教科書が見やすいと思う ●配布プリントだけではなく教科書の説明も多くあり、他の授業ではプリントメインなので新鮮だった。 ●教科書に沿って丁寧に授業を行なっている。 | ●教科書の内容にできるだけそってほしい ●スライドと教科書の連携がバラバラしていてわかりにくいところがあります。 |
| 講師について | ●先生の対応がとてもよく、しっかり教えてくれるので、組織のことをすぐ知ることができた ●先生のキャラが素敵でめちゃくちゃ話聞きました ●しっかり注意もしてくださるので今で満足しています | ●名前をうる覚えで呼ばないで欲しい ●生徒への注意が多過ぎる。いちいち授業を止めるのではなく、真面目に受けていない生徒に対しては無視をして、どんどん授業を進めてほしい。 ●先生の表情が少し怖かったので、少し和らげるとキュートだと思います。 |
| 授業の理解度 | ●人体に関することは理解が深まれば深まるほど面白くなっていくし、分からないことも次々に出てきてまう。 ●最後に配られる患者さんに聞かれたときにどう答えるかなのプリント、将来に生かせる内容で役立ちます! | ●用語などまだ覚えていない時に用語で説明されるので、はじめの方から聞いた ●全体的にわかりにくい |

■公開授業・授業アンケート結果の閲覧

各科目の詳細は、E棟1階事務局で閲覧することができます。

平成 30 年度後期 リフレクション・ペーパーの内容について

平成 30 年度後期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。
(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取組みを始めています。
すべてのリフレクション・ペーパーをご覧になりたい場合は、教務室までお越しください。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 1 回毎の授業のなか、ひいては 15 回の授業全体を通じて緩急をつけているので、学生達には絶対とりこぼしてはいけないポイントを自分たちで判断できるようになってほしいと思っています。
- 確認テストを毎回行い、解説に時間をかけて、前回の復習をしっかりとできるようにしました。
- 学生が記入するコメントシート(15 回分)が 学生 ⇄ 教師の繋がりになるように、質問などは補足説明し、励ましなどのコメントも書いた。
- 学生の自宅での学習時間が少ないこと、あるいはほとんどしていないことを考慮し、まず復習から始めている。その後に小テストにて知識の確認をしている。
- 臨床場面を想定した課題とし、患者さんに説明するような言葉で書かせることで、理解力が深まるように努めた。
- 授業は、30 分ごとに分け、繋がりを持たせつつ変化のある授業内容を行うようにした。
- 学生に、読む・書く・話す・聞くの 4 技能をいれた授業を行った。
- PPT 資料の作成にあたって、できるだけ学生が興味を持てる素材を探して視覚的にも内容が伝わりやすいよう心がけました。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- とても熱心に授業に取り組んでくれている学生が増えてきたと思います。昨年度から試験の難易度をあげていますが、しっかりとついてきてくれていました。
- 熱心な学生においては、体験型学習方法はピット記憶として残され、理解を深め、疑問点や創造性を表出できるようになってきました。
- 小テストなどを通して、学生の理解度をある程度把握し、フィードバックできた点。
- 学生が、発表のため、よく下調べをして、授業に臨んでくれたと思う。
- 熱心な学生においては、体験型学習方法はピット記憶として残され、理解を深め、疑問点や創造性を表出できるようになってきました。

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- 自分の中で「寝る学生ゼロ運動」を行っていて、寝ている学生がいれば起きるように促したり、興味を持てるような授業展開を心掛けているが、それでも 1 限目(本アンケート対象クラス)や体育の授業の後などのコマでは寝る学生が少なからずいる。来年度は、本当にゼロにできるよう、内容を検討していきたい。
- ご指摘があったかと思いますが、時間配分と実技内容。
- なじみのない言葉が多いこともあり板書なしでは理解が追いつかない学生もいるため、1 年生で習っている内容であっても板書は必要になってくること。
- すべてにおいて、力不足を感じた。具体的に挙げるならば、学生が興味を抱くような方向に授業を進められなかったこと、授業のつながりが良くなかったこと、良い意味での緊張感を維持できなかったこと。
- 教える内容が多くて、説明が浅くなってしまいう講義があり、テーマを絞るなどの工夫が必要だと思います。
- 一方的に話をする授業が多くなっていったようである。今後は、学生と授業内容に関する意見を交換したり、質問の受け答えの機会を授業内でも増やしたりし、教員が「一方的に覚えさせる」授業よりも「学生が自分で考えて理解する」ことが出来るような授業を組み立てていく。

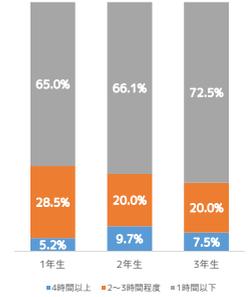
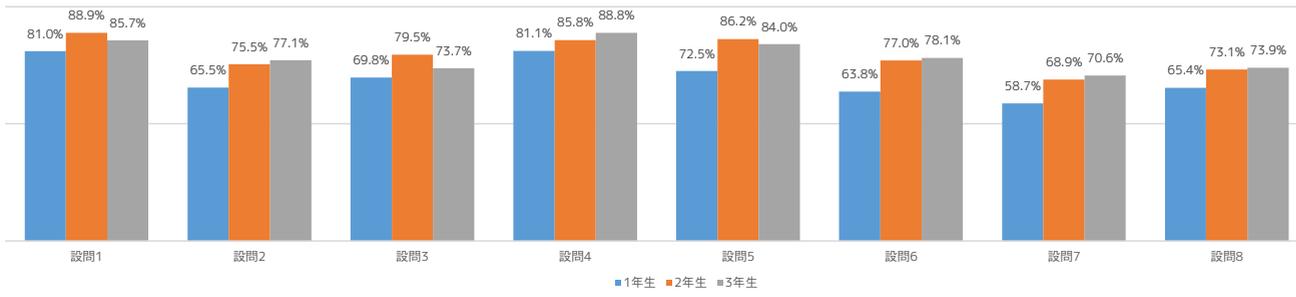
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

- 比較的肯定的な意見でしたが、身体に染みつく技術を伝えられたと思います。
- 進め方が早いという指摘があったので、内容をしぼり、丁寧に教えていくように工夫したいです。
- アンケートでは内容理解が低いものの、毎回行う小テストでは理解度は概ね良好であり、期末テストでも平均 70 点と求めるレベルに達している。これはおそらく初めて耳にする用語とその量の多さから難しさを感じていると考える。難解さを感じさせないような工夫をしていく。
- 自分では板書の字は大きく、消すタイミングも学生の記述スピードに合わせて消していたつもりだったが、今回のアンケートで板書に対する改善を求める声が非常に多かった。板書量が多いことも要因となっているため、レジュメを作成するなどの工夫も必要だと思う。
- 学生との温度差を感じました。今後は、もう少し表現方法を工夫していきたいと思っています。
- ちぐはぐな授業になっているのは自分でも感じており、うまく修正できずにいたため、それが学生の方にしっかり伝わってしまったように思う。
- 授業の構成の関係で、学生の方々に議論に加わってもらったり、発言してもらったりする時間が少なかったと、私も反省していました。ご指摘を素直に受け止め、今後、授業の思いがけない展開にも対処できるよう、私自身の勉強を深めていきたいと思っています。
- 学生が寝てしまうのは自分の講義に魅力がないせいだと思っているので、あまり注意をしませんでしたが、ご参観いただいた先生方の御意見を伺い、今後、授業中に寝ている学生にはもう少し声をかけたほうがいいのかと思っています。

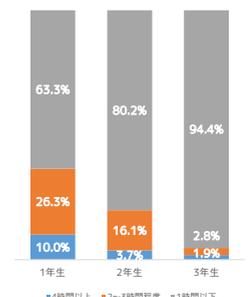
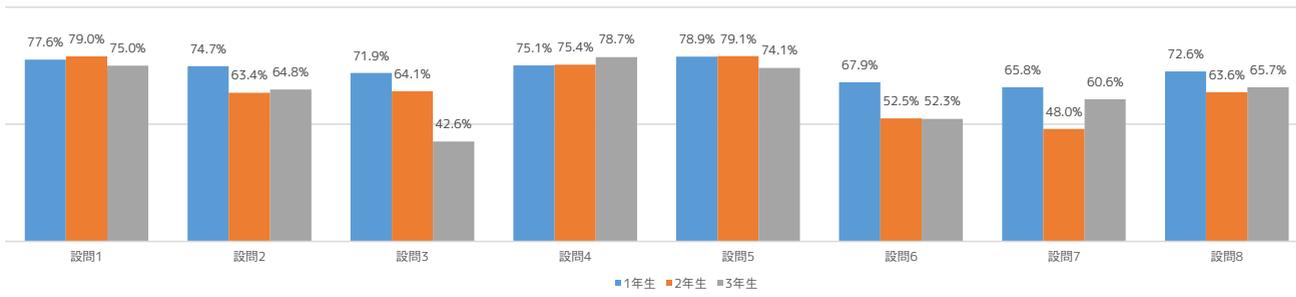
平成30年度後期 授業アンケート調査結果 (肯定意見 学科別内訳)

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
- 問2 授業内容はよくわかった。
- 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
- 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
- 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り確認などをしていない。
- 問8 総合的にこの授業に満足している。
- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

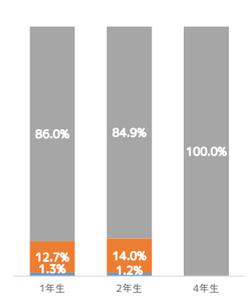
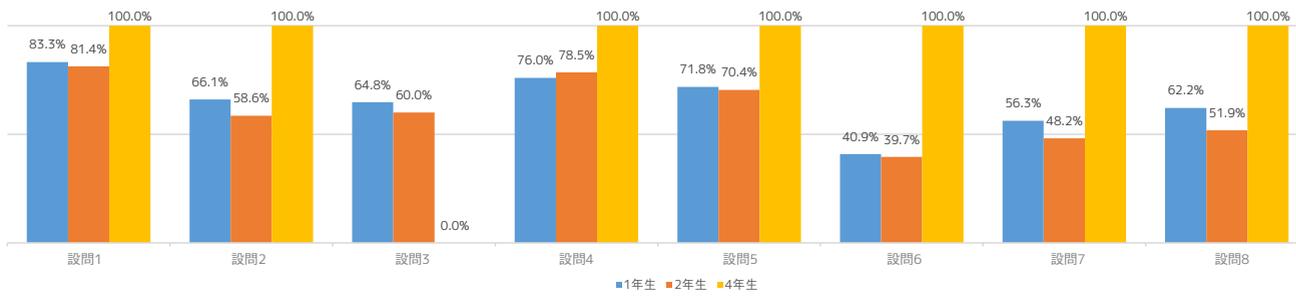
■鍼灸学科



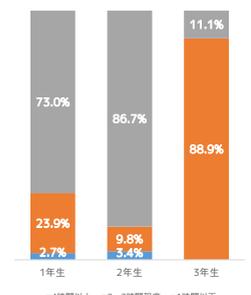
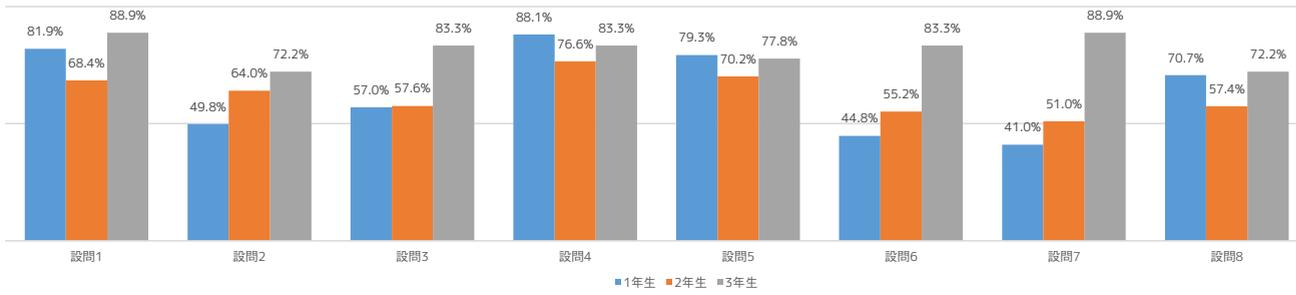
■理学療法学科



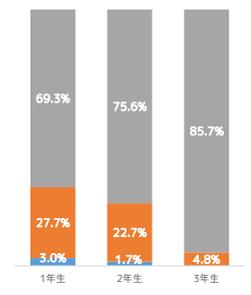
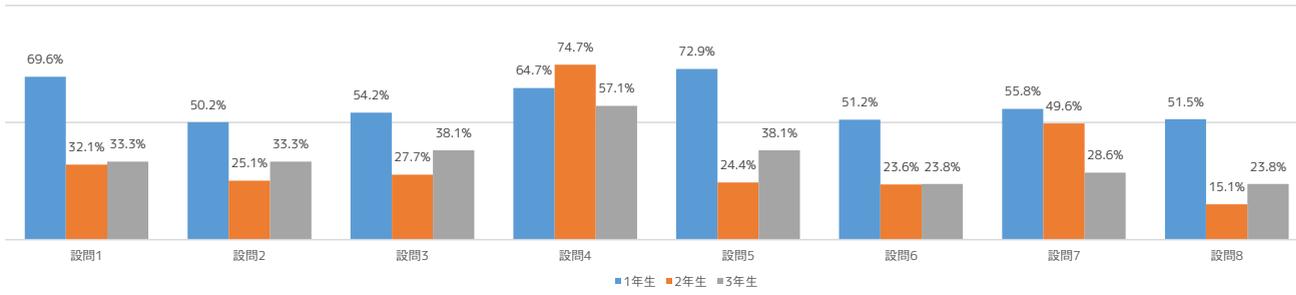
■看護学科



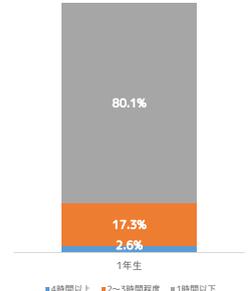
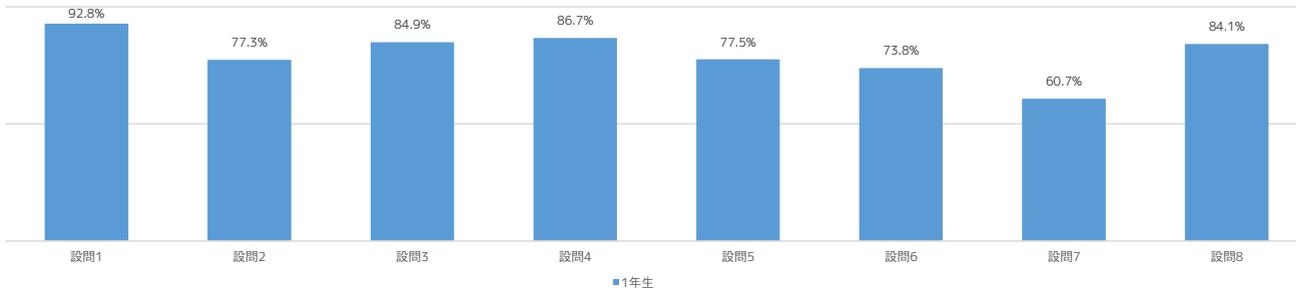
■作業療法学科



■臨床検査学科



■臨床工学科



2019年度前期 授業評価アンケート調査結果

| 学部 教養 通科目 | 科目 | 1年 | 2年 |
|--------------|----|---|----------|
| | | 鍼灸学科 | 1年 日本国憲法 |
| 理学療法学科 | 1年 | 健康科学（スポーツ社会学を含む）、社会福祉学、スポーツ健康科学演習 | |
| | 2年 | 英会話 | |
| 看護学科 | 1年 | 健康科学（スポーツ社会学を含む）、生命倫理学、英語Ⅰ（初級）、情報処理 | |
| | 2年 | 英会話 | |
| 臨床検査学科 | 1年 | 東洋思想史、情報処理、スポーツ健康科学演習 | |
| | 2年 | スポーツ健康科学演習、心理学 | |
| 作業療法学科 | 1年 | 物理学、英語Ⅰ（初級） | |
| | 2年 | 生理学Ⅰ（動物生理学）、東洋医学概論Ⅰ、経絡経穴Ⅰ | |
| 鍼灸学科 | 1年 | 東洋医学系検査法、病理学 | |
| | 2年 | 東洋医学系鍼灸実習Ⅱ、鍼灸安全学、現代医学系鍼灸学Ⅱ（内科系）、介護学概論、東洋医学系鍼灸応用実習 | |
| 理学療法学科 | 1年 | 関係法規・経営論、応用鍼灸治療学Ⅲ（小児・婦人科） | |
| | 2年 | 人体の機能Ⅰ（動物性機能） | |
| 看護学科 | 1年 | 精神医学、整形外科学、病理学 | |
| | 2年 | 生活環境論、リハビリテーション医学、医療関係法規論 | |
| 臨床検査学科 | 1年 | 形態機能学Ⅱ、生活援助論Ⅰ | |
| | 2年 | 臨床病態学Ⅰ、成人看護学概論、在宅看護学概論、老年看護学概論、養護概説、公衆衛生看護学概論 | |
| 作業療法学科 | 1年 | 成人看護援助論Ⅲ、母性看護援助論Ⅱ | |
| | 2年 | 公衆衛生学 | |
| 臨床工学学科 | 1年 | 医用工学概論、小児医学、血液検査学Ⅰ | |
| | 2年 | 寄生虫検査学 | |
| 鍼灸学科 | 1年 | 臨床運動学、内科学Ⅰ、高次脳機能障害作業療法評価学、脳神経外科学 | |
| | 2年 | 精神障害作業療法治療学総論、地域作業療法学 | |
| 理学療法学科 | 1年 | 人体の構造Ⅰ、生化学、医学概論 | |
| | 2年 | 電子工学Ⅱ、医療統計学、情報処理工学 | |
| 看護学科 | 1年 | 教職論 | |
| | 2年 | 特別活動論 | |
| 鍼灸学科 | 1年 | 教育方法論 | |
| | 2年 | 教育方法論 | |
| 看護学科 | 1年 | 教職論 | |
| | 2年 | 生徒指導論（養護教諭）、教育課程論 | |

■実施目的
本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

- 質問項目**
- 授業の運営について**
問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
問2 授業内容はよくわかった。
問3 教員からのプレゼンテーション（教科書、板書、映像、教材、配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
- 教員について**
問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
- 自らの履修態度について**
問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
問8 総合的にこの授業に満足している。
- 自習について**
問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法
上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向
ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。学校全体での傾向を把握するものをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。（太字部分が集計対象）

①問1～8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思う**」
②問9 「1時間以下」「**2～3時間**」「**4時間以上**」
※臨床検査学科3年生は1科目のため集計が
※理学療法学科、看護画家、臨床検査学科、作業療法学科4年生は対象科目なし

| | 鍼灸学科 | | | | 理学療法学科 | | | | 看護学科 | | | | 臨床検査学科 | | | | 作業療法学科 | | | | 臨床工学学科 | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|--------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 1年生 | 2年生 | | | | | | | | | | | |
| 授業運営についての評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問1 | 81 | 77 | 81 | 85 | 78 | 86 | 88 | 97 | 89 | 82 | 83 | 70 | 69 | 90 | 72 | 69 | 84 | 81 | 88 | 93 | 67 | 79 | 14 | 93 | 92 | 71 | 77 | 70 | 87 | 80 | 81 | 71 | |
| 問2 | 80 | 58 | 75 | 76 | 66 | 75 | 81 | 90 | 78 | 74 | 66 | 58 | 40 | 80 | 75 | 81 | 49 | 48 | 72 | 59 | 80 | 81 | 50 | 50 | 0 | 87 | 83 | 55 | 47 | 54 | 68 | 66 | 68 |
| 問3 | 77 | 62 | 76 | 73 | 70 | 77 | 80 | 97 | 77 | 69 | 70 | 63 | 41 | 78 | 73 | 70 | 53 | 53 | 75 | 61 | 76 | 81 | 51 | 54 | 0 | 82 | 81 | 60 | 58 | 61 | 81 | 64 | 71 |
| 教員について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問4 | 83 | 80 | 82 | 82 | 76 | 83 | 87 | 72 | 80 | 75 | 76 | 72 | 65 | 86 | 76 | 82 | 69 | 77 | 88 | 84 | 80 | 79 | 67 | 67 | 14 | 86 | 89 | 81 | 80 | 85 | 91 | 75 | 81 |
| 問5 | 85 | 74 | 83 | 78 | 84 | 79 | 90 | 97 | 77 | 73 | 75 | 59 | 60 | 81 | 80 | 84 | 66 | 67 | 84 | 83 | 77 | 91 | 58 | 63 | 5 | 87 | 82 | 77 | 64 | 72 | 87 | 66 | 80 |
| 自らの履修態度について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問6 | 74 | 61 | 74 | 78 | 63 | 77 | 74 | 62 | 68 | 63 | 65 | 50 | 54 | 67 | 66 | 73 | 54 | 53 | 72 | 68 | 73 | 73 | 54 | 63 | 16 | 81 | 73 | 58 | 63 | 56 | 60 | 61 | 61 |
| 問7 | 64 | 56 | 70 | 78 | 63 | 75 | 76 | 30 | 60 | 52 | 62 | 52 | 60 | 54 | 61 | 66 | 52 | 53 | 66 | 63 | 60 | 69 | 51 | 46 | 48 | 76 | 55 | 64 | 62 | 60 | 53 | 51 | 60 |
| 問8 | 70 | 58 | 70 | 71 | 62 | 71 | 70 | 72 | 77 | 69 | 66 | 59 | 32 | 74 | 70 | 78 | 49 | 53 | 70 | 63 | 71 | 76 | 50 | 48 | 0 | 79 | 81 | 58 | 56 | 54 | 71 | 55 | 63 |
| 自習について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 問9 | 22 | 38 | 29 | 29 | 11 | 21 | 18 | 7 | 10 | 24 | 53 | 28 | 22 | 19 | 22 | 35 | 35 | 37 | 53 | 63 | 37 | 35 | 35 | 39 | 34 | 57 | 23 | 28 | 43 | 19 | 23 | 48 | 32 |

(2018年度前期アンケート結果と比較)

| 分類 | 分類の具体的内容 | |
|-------------------|---|--|
| | 興味深かった・役に立った点 | 改善してほしい点 |
| 授業の進め方・話し方 | ●教科書に載っていないことも詳しく授業で盛り込んでくれるところ。 ●教科書だけではわからない部分をデモンストレーションしてくださったのでよくわかった。 ●板書や、プリントでわかりやすく授業して下さり、小テストで知識を確認できるので良い。 ●一緒に、みんなの様子を見ながらやってくれるのでわかりやすい。 ●難しい言葉使わずに噛み砕いて説明してくれるのでとてもわかりやすかったです。 | ●先生によって教科書優先、プリント優先が違ってやりにくい。統一してほしい。 ●教科書を読んでわからないところを質問することがありますが、初めて習う項目だったので、どこがわからないかまだわからなかった。 ●座学でも十分に面白い授業だが、もう少しグループワークや心理学に関するテストなどをして欲しい。 ●早口でなっているのがわからない |
| 板書について | ●板書が分かりやすい ●板書や説明が詳しく、わかりやすい。 ●図をよく書いてくれる ●黒板が見やすい。 | ●板書の色と矢印を使わずに書いてほしい ●穴埋めを全て板書しないため、漢字が分からなかったり、正しい答えを聞き逃すことがあるので全て板書してほしい。 ●ポイントとなるところを口頭だけではなく、板書にも書いて欲しい。 ●カタカナなど、聞き間違いがある可能性もあるため黒板に書いて欲しい。 |
| 授業時間数・スピード | ●毎回長く練習時間がある ●授業中に5分の休憩をとることで、効率化が高まりました。 | ●スピード落として欲しい ●授業のスピードが早すぎるのと板書の量が多過ぎるので、理解をすることができません。 ●授業時間が少し余るので、全体のスピードを少し上げてほしい。 ●プロジェクターによる板書を書き留めたいときに、講義の進行が早く、書ききれずに諦めてしまうことがときどきありました。 ●人数が多いので仕方ないかもしれませんが、授業が延長しすぎないようにしてほしい |
| 副教材について | ●映像で理解が深まった。 ●レポート作成がしやすいレジュメだった。 ●授業資料が印刷できるのありがたい。 ●レジュメに最初から絵が描いてあるのではなく、描かせてくれるので覚えしやすかった。 ●レジュメがカラーで分かりやすい。 | ●プリントに書いてあるところが教科書のどの部分を指しているのか、ページ数などを書いて欲しい。 ●小テストの問題の内容を探しても見つからないのでプリントか教科書を探せば分かるものにしてほしい。 ●小テストの解答がほしい。レポートを返却するときに、点数だけでなく、何かしら書いてほしい。 ●提出したプリントが帰ってきたときの先生からのコメントの字が読めない。 |
| 授業の環境について | ●他の学科と交流する機会ができて良かった。 ●自ら考える機会を貰っていること。 ●ふさふさい身だしなみやコミュニケーションを一方的に教わるのではなく、自分たちで考える機会があって、良かったと思う。 ●グループワークでの授業なので、周りの意見を踏まえて自分の意見をさらに深く追求していくことが出来る点が、とても良い。 | ●パソコンの動きが遅い。 ●モニターを見やすくしてほしい ●休講が何度も繰り返されて、バイトの兼ね合いで補講に行くことが難しい日が多々ある。あまりにも回数が多いので、先生の都合で休講にしたなら補講もこちらの都合を聞いてほしい。 ●注意が公平でない。全体に声を掛けられないのに、少し喋った数人に声を掛け、目立ってうるさい人にはあまり注意しない。 |
| 教科書について | ●教科書通りに進んでいるのでわかりやすい。 ●教科書がわかりやすい。 | ●教科書をもっと活用してほしい ●教科書にそってページ数を提示して、詳しく説明してほしい。 ●わかりやすい授業スライド、わかりやすい説明、わかりやすい教科書選びをしてほしいと言えません。本当にただ、自習の教科書を生徒に買わせて私腹を肥やしているようにしか思えないです。 |
| 講師について | ●先生おもしろい！！ ●先生が優しいです。面白すぎて、腹筋が痛いです。 ●ギャグはたまに滑るがおもしろいので授業を聞きやすい。 ●質問した時も丁寧に答えてくださって、良かったです。 | ●先生の授業のレベル差が激しい。 ●提出したプリントが帰ってきたときの先生からのコメントの字が読めない。 |
| 授業の理解度 | ●バイト先で海外の観光客に接客できるようになった。 ●重要なところを小テスト形式で覚えられる様にしてほしいところ。 ●レポートのアドバイスがあったので、それに従って書いて、少しずつ文の量を増やしていった。 ●自分の体験を話していたところが想像できやすくて良かった。 ●聞いたことがあるけどあまりよく知らないということがたくさんあり、それについて理解を深めることができるのがいい。 | ●説明や資料は教科書の表記に揃えるか、理由があつて変えているなら説明してほしい。 |

2019 年度前期 リフレクション・ペーパーの内容について

2019 年度前期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。
(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みを始めています。
すべてのリフレクション・ペーパーをご覧になりたい場合は、教務室までお越しください。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 実技科目であるためできるだけ説明は短くし実技の時間を確保した点。
- 学生の能動的学習になるように、授業内容についての小テストを毎回実施し、小テストを受ける前に学習として短い時間ではあるが自習する時間を設けた。その際は適宜巡回し、分からなかったところなどの質問に対応する時間とした。
- 演習後の課題はひとりひとりできるだけいいいみで、コメントを入れて返却した。
- 講義は一方向的にならないよう、クリティカルシンキングに基づいて学生が考える・書く・発表するという時間をふんだんに作り、ある一定の意見や思考を導き出すというプロセスで展開した。
- 毎回の小テストを授業開始時に行うことで自宅での復習の習慣づけをした。
- 当科目内容と関係のある直近二年間の国家試験問題をまとめて配布した
- 配布する教材はスペースや白黒など様々な制約があるため、予習用、および復習用の pdf を moripa に upload し、学習意欲の高い学生の要望に応えられるよう配慮した。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- 質問への対応策として、作業内容を動画化したことは、積極的に動画を閲覧してくれていたように感じている。
- 学生同士で意見交換や発表をすることで、発信することに責任を持ち、視野を広げることができた。
- 学生との人間関係、学生同士の人間関係が築けるように配慮したからかもしれませんが、欠席が少なかった。
- 前回の復習を問題形式にすることで、教科書の中から必要な箇所を学生自身が探す姿勢が見られたこと。授業の最初に復習時間があることで、授業内に教科書の必要部分にチェックし、使える教科書を作る学生が見られたこと。
- 昨年の授業アンケートおよび授業評価結果のアドバイスを参考に、学生さんの顔を見て話しをするように心がけました。その結果、興味をもって話しを聞いてくれているな、理解してもらうには補足説明が必要だな、ということが昨年よりも感じ取れるようになりました。その影響もあってか、学生さんから多くの質問をもらうことが出来ました。

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- おとなしくしていながら授業は聴かずスマホをいじっている学生がいる。やり方が巧妙なので授業で話していると一人一人の行動を指摘して注意する時間がない。
- 授業で伝えなければいけない項目が多く、ついつい一方的に話してしまうことが多くなってしまった。
- 課題で学びが効果的に深まっているのですが、課題の量が多いので、再度バランスを見直します。
- アンケートの結果から、講義資料の背景色が濃い場合にメモを書き込む領域が狭い、あるいは書き込んでも読み取りが困難との指摘があった。
- 次回の予告をし、予習の材料を示して置く。
- 発言ごとにポイントを与えると学生の発言を促したが、発言が苦手な人たちに不公平感を与えたことは反省している。彼らこそがターゲットであったのだが、真意がしっかりと伝わらなかったとしたら私の説明不足です。

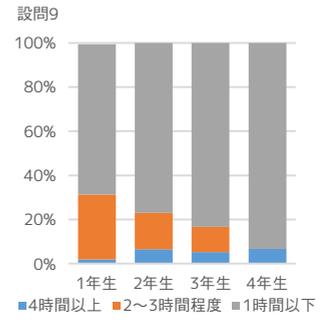
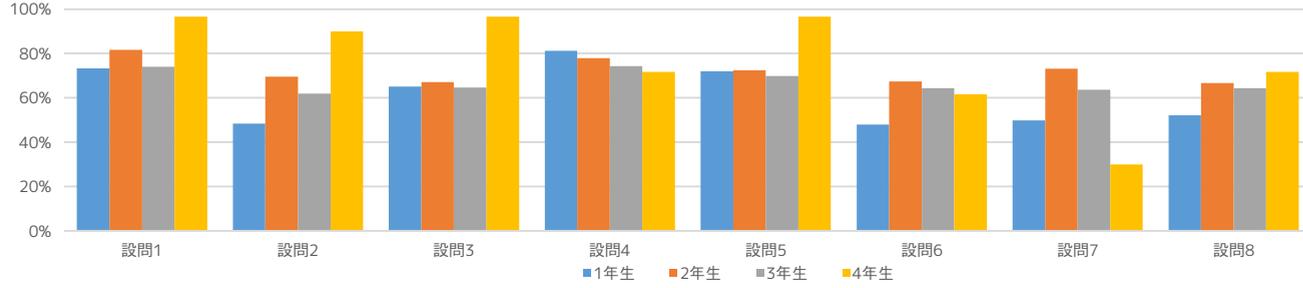
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

- アンケートで多かった「字がきたない」という指摘を真摯に受け止め、改善して行きたいです。
- 「ゆっくり話してほしい」とあるが、速いのではなく学生の理解が追い付かないのであろう。これは基本的な物質名や酵素反応などを十分に覚えていないこと、理解していないことが原因と考えられる。繰り返し説明することで理解を深めさせたい。
- 指摘のあった居眠りや遅刻する学生への対応は、日頃より自分でも悩んでいるところでもある。その都度対応すると、スムーズな講義の進行に障害がある。他の公開授業においても居眠り学生は結構見られるが、他の教員の方も見て見むふりをして講義を進めているように感じられる。
- 年々、学生との年齢差が大きくなり、我々が体感した経験値を表現するのも難しいが、学生の学識や一般常識的領域も意識し、さらに興味をもって受講できるように授業として行きたい。媚びを得るわけではないが現代の学生の気質も考慮した授業展開を心がけねばならないということであろう。そして学生一人一人が充実感を得られる授業を進めて行きたいと考えている。
- アンケートの回答数が極端に少なかったのが実に残念であった。サンプル数が少ないと、結果を百分率などの数値で分析、考察するには無理がある。よりよい授業への改善を図っていきたくないので、履修生の広くから忌憚のない思いを聞かせてほしい。

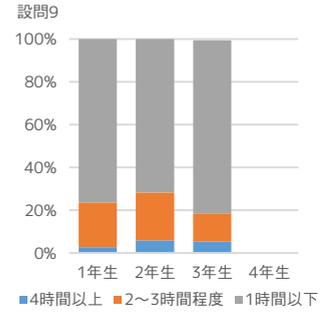
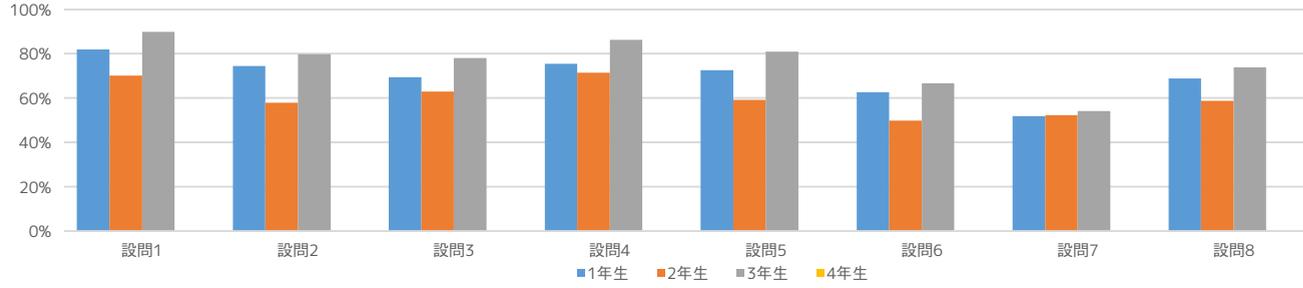
2019年度前期 授業アンケート調査結果 (肯定意見 学科別内訳)

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
- 問2 授業内容はよくわかった。
- 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
- 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
- 問7 この授業で遅刻、欠席、居残り雑談などをしていない。
- 問8 総合的にこの授業に満足している。
- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

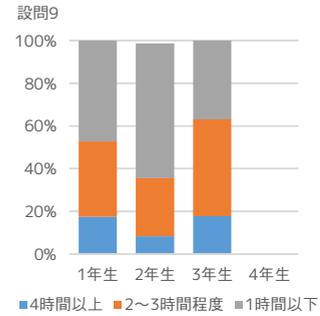
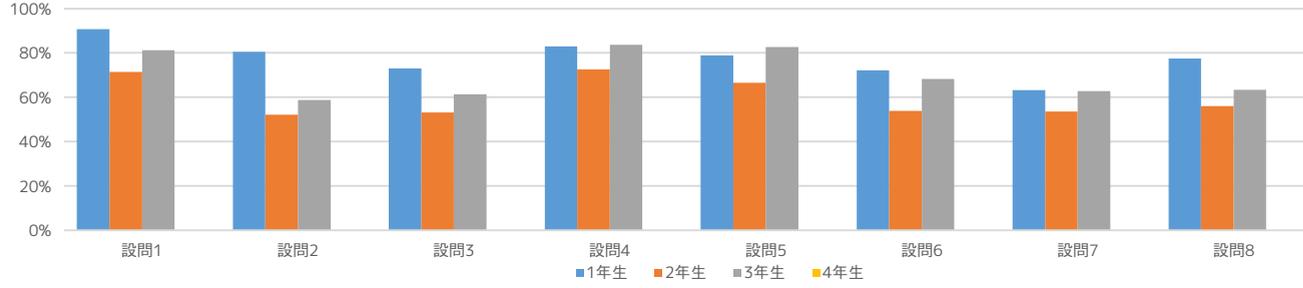
■鍼灸学科



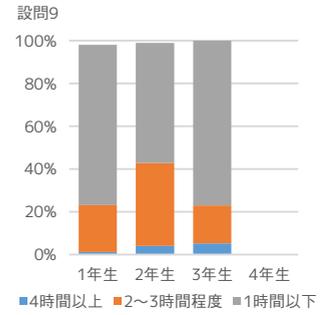
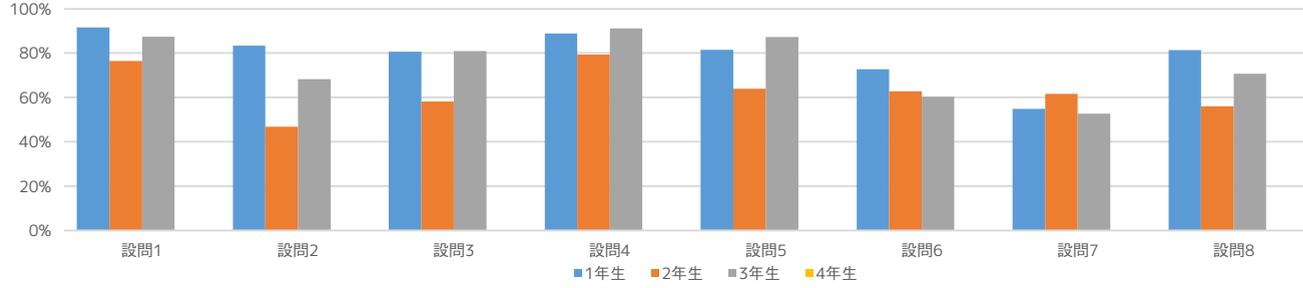
■理学療法学科



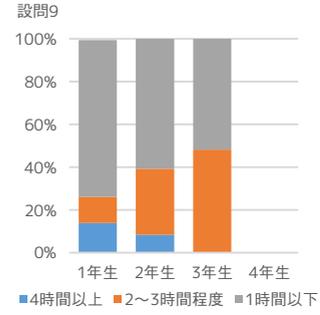
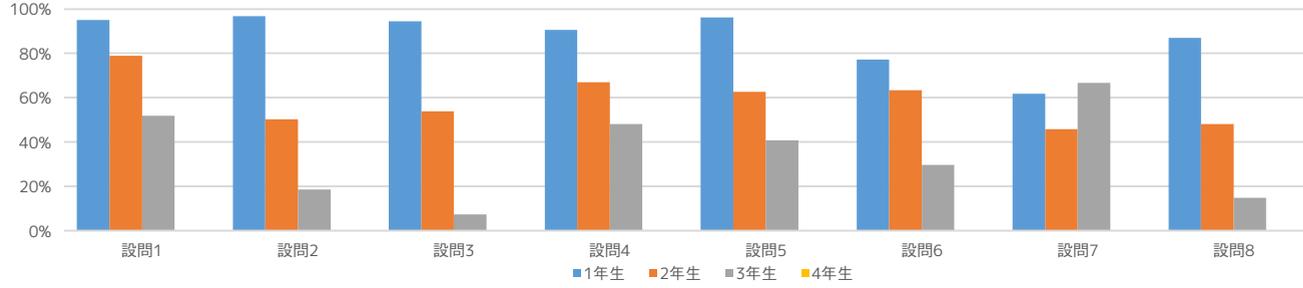
■看護学科



■作業療法学科



■臨床検査学科 ※3年生の対象科目は1科目のみのため、極端な結果になっています



■臨床工学科

